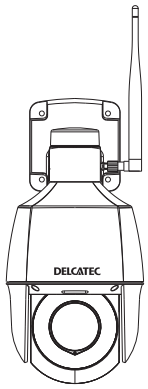
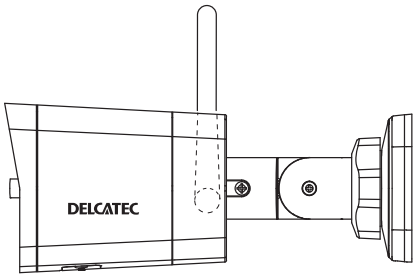
DELCATEC

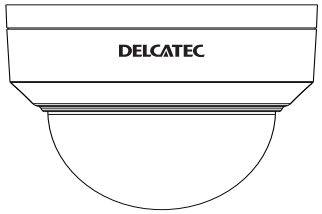
屋外用ワイヤレス対応 PTZ カメラ
CNW3CPZ1



バレット型ワイヤレス対応 ネットワークカメラ
CNW3CBF1



ドーム型ワイヤレス対応 ネットワークカメラ
CNW3CDF1



設定ガイド

・ 本書は、CNW3C シリーズのカメラ用設定ガイドです。別売のネットワークレコーダー（CNW3SZ11）に登録（ペアリング）して使用するときは、弊社 Web サイトより CNW3SZ11 の設定ガイドをご確認ください。
URL：https://dxantenna-product.dga.jp/detail.html?id=2694

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

・ この製品は犯罪防止システム品ではありません。空巣、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

DXアンテナ株式会社

2026 年 5 月　5.0 版

もくじ

はじめに 2

本製品の概要 4

使用上のお願い 5
- 録画について 5
- 使用上のご注意 5
- 設置のご注意 5

運用・設定 6

管理画面について 7
- 複数のカメラを接続する 12
- リセットボタンについて 13

ツールメニュー 14

コントロールパネル 15

microSD カードにデータを保存する 17
- 録画を開始する 17

FTP サーバーに保存する 19

映像を再生する 22

写真を管理する 24

Web 設定画面について 26

共通 27
- 基本情報 27
- ローカルパラメータ 28
- 有線ネットワーク 29
- 時間 31
- プラットフォームアクセス 33
- OSD 35
- ユーザー 36

ネットワーク 37
- 基本設定 37
- 802.1x 42
- サービス設定 43
- プラットフォームアクセス 46

ビデオと音声 47
- ビデオ 47
- スナップショット 49
- 音声 51
- ROI52
- メディアストリーム 53

PTZ 54
- 基本設定 54
- ホームポジション 55
- 限定 55
- リモートコントロール 56
- 巡回 56
- 位置校正 57

画像 58
- 画像 58
- OSD 68
- プライバシーマスク 68

インテリジェント 69
- スマート 69
- 拡張設定 71

イベント 72
- 標準アラーム 72
- **ワンキー警戒解除 79**
- ストレージ 81
- FTP 82

セキュリティ 83
- ユーザー 83
- ネットワークセキュリティ 84
- 登録情報 87
- ウォーターマーク 88

システム 89
- 時間 89
- デバイス情報 89
- メンテナンス 90
- ログ 91

その他 92

使用上のご注意 97
設置上のご注意 99
このマニュアルについて 101

本製品の概要

本製品は、ワイヤレス対応ネットワークカメラです。無線 LAN ルーターなどに接続することで、無線 LAN 経由でネットワークに接続できます。

●H.265 対応

従来の約 2 倍録画可能な H.265 に対応し、より長時間の録画が可能です。（H.264 との比較）

※ H.265 とは、H.264（MPEG-4）の後継となる動画圧縮規格です。

●F1.6 レンズ（対応機種のみ※1）

少ない光量しかない薄暗い場所でも鮮明な撮影が可能な明るいレンズ（F1.6）を採用しています。

●防水防塵

保護等級 IP67（CNW3CBF1・CNW3CDF1）/IP66（CNW3CPZ1）に適合した防水防塵タイプで、屋外での撮影も可能です。

●耐衝撃性能（CNW3CDF1 のみ）

保護等級 IK10 に適合した耐衝撃性能を備え、優れた防犯性能を有しています。

●CMOS センサー

高画質 CMOS センサーを搭載し、高精細な Full HD 映像を撮影可能です。

●デイ／ナイトモード

カメラレンズの周囲に赤外線 LED を配置し、夜間や暗い場所でも被写体をクリアに撮影できるデイ／ナイトモードを搭載しています。（0 ルクスでも IR 照射範囲であれば、撮影可能です。）デイ／ナイトモードは、周囲の明るさを感知して自動的に切り替わります。（手動でのデイ／ナイトモードの固定も設定可能）

●動体検知録画対応

常時録画で動体検知をしたときは、イベントとして記録されます。

●microSD カードスロット

本体に microSD カードスロットを搭載し、microSD/microSDHC/microSDXC カードを挿入することで録画映像を保存可能です。（補助的な録画先としてのみお使いいただけます。）

microSD カードの種類	microSD カード容量
microSDHC/microSDXC カード（クラス 10 以上）	（CNW3CBF1・CNW3CDF1） 最大 128GB
	（CNW3CPZ1） 最大 256GB

重要 **カメラを屋外に設置している場合、夏季に本製品内部が非常に高温となるため、耐久性の高い microSD カードを使用することを推奨します。**

エレコム製の microSD カードは動作確認済です。詳しくは弊社 HP の D サポ！を確認してください。

※ 1 F2.0 レンズ：CNW3CBF1、F1.6 レンズ：CNW3CDF1/CNW3CPZ1 で採用しています。

●本書に記載されているイラスト、画面などは開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。

使用上のお願い

録画について

本製品の故障や誤動作などの原因によって、microSD カードに正常に録画できなかった内容の補償、録画した内容の損失、直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

- 本製品の使用は、日本国内のみです。海外では使用できません。
- 本製品は、防犯を保証する機器ではありません。ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。
- カメラは軒下など、できるだけ雨、風や日光が直接当たらないところに設置してください。
- 停電などの外部要因によるデータの損失、その他の直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品は、別売のネットワークレコーダーや microSD カードを使用して映像を録画することもできます。
- 本製品の周囲温度が急激に変化した場合や 0℃以下になった場合、レンズ部がくもったり、霜が付いたりすることがあります。
- カメラのレンズやセンサーには、直接手で触れないでください。故障の原因となります。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ホームポジションについて（CNW3CPZ1 のみ）
  指定時間内に操作が行われなかった場合に、カメラの方向・角度を所定の位置（ホームポジション）に戻す機能が ON になっています（➡ 52 ページ）。
- 本書で使用している画面は、CNW3CPZ1 をもとに作成しておりますので、ご使用になるカメラによっては画面が異なる場合があります。

設置のご注意

- 本製品をセンサーライトの近くに設置しないでください。誤動作することがあります。
- 本製品は、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して設置してください。
- 本製品の取扱方法や、設置方法については、付属の取扱説明書をご確認ください。

運用・設定—画面について

●各設定画面等においては、設定後に［保存］をクリックしなければ設定が反映されません。
設定を完了する際は、必ず最後に［保存］をクリックしてください。

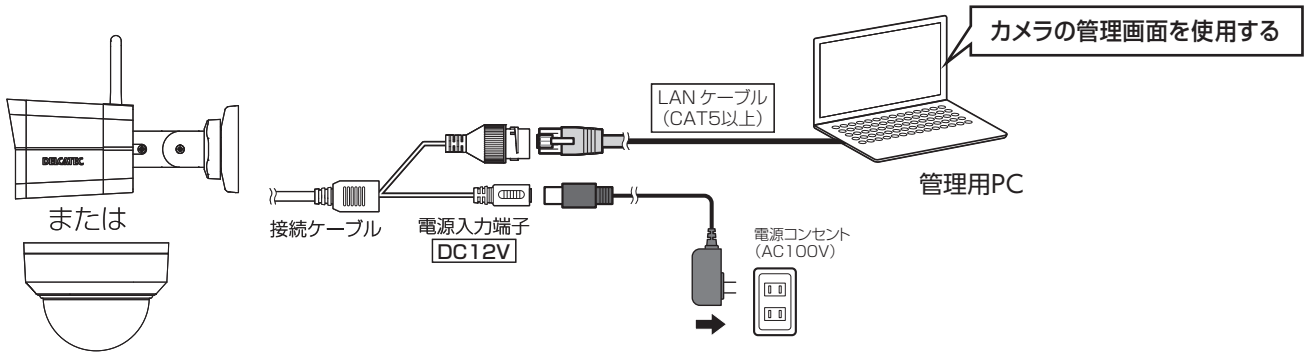
管理画面について

●本製品に付属の AC アダプターを接続し、電源を入れます。

重要 **本製品に同梱されている AC アダプターは本製品専用です。他の機器への流用および同梱以外の機器・ケーブルの使用はできません。**

●LAN ケーブルを接続して、管理用 PC 上のウェブブラウザからアクセスします。

[工場出荷時のカメラを管理用 PC へ接続する例]



1 使用する PC の IP アドレスを変更する。

管理用 PC の IP アドレスを以下に設定します。管理用 PC の IP アドレスの変更方法については、ご使用になる PC の取扱説明書を確認する、または下記の URL をご確認ください。

https://qa.dxantenna.co.jp/faq_detail.html?id=2848

IP アドレス	192.168.1.1 ～ 192.168.1.255（192.168.1.13 以外）の範囲内
サブネットマスク	255.255.255.0

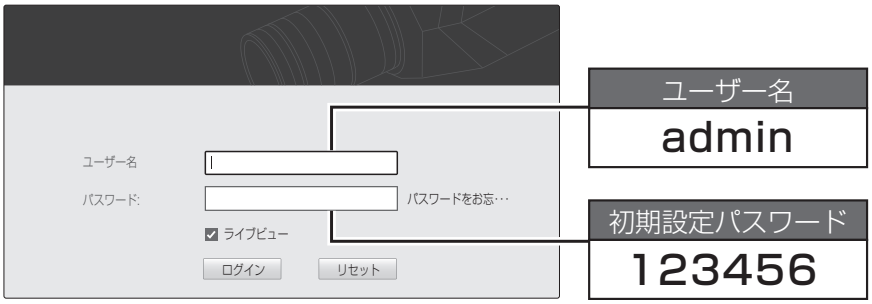
2 管理用 PC で Microsoft Edge または Google chrome を開く。

アドレスバーに以下の URL を入力します。

対応ブラウザ	Microsoft Edge Google chrome
URL	http://192.168.1.13

3 ユーザー名とパスワードを入力する。

ログイン画面表示後、下記のユーザー名とパスワードを入力します。



注意

- **初期設定のパスワードは非常に脆弱なものですので、ログイン後、パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。パスワードの変更方法は、設定ガイドをご確認ください。**
- **間違ったユーザー名・パスワードで 5 回連続ログインに失敗すると、その後正しいユーザー名・パスワードを入力しても、ログインが一時的に行えなくなります。その場合は、約 5 分間待ってから再度ログインしてください。**

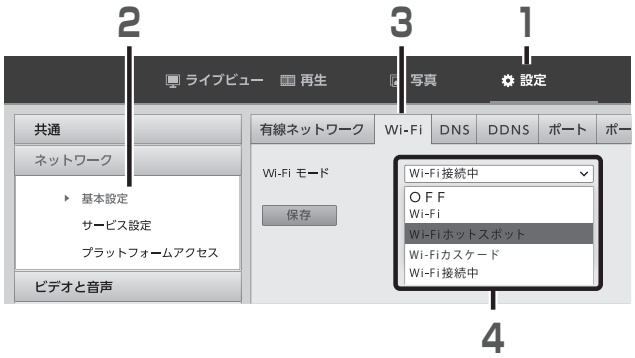
Wi-Fi 設定を変更する

1 「設定」タブをクリック。

2 「ネットワーク」－「基本設定」メニューを選択します。

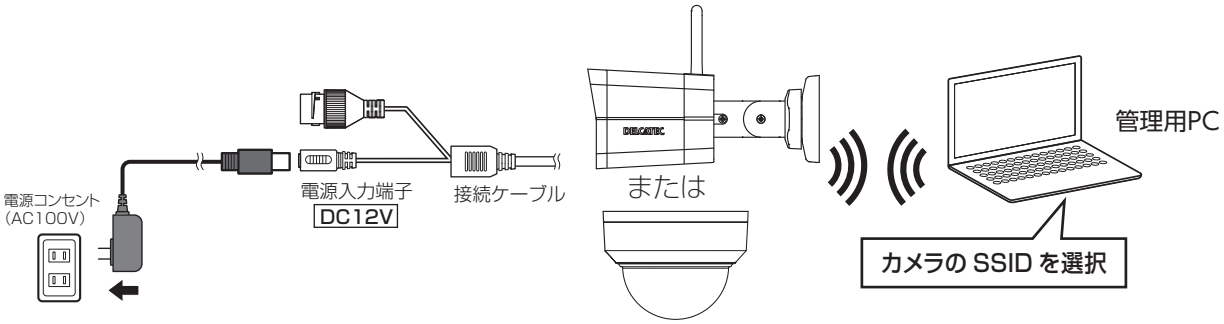
3 「Wi-Fi」タブを選択します。

4 「Wi-Fi モード」を「WiFi ホットスポット」に設定し、「保存」をクリックします。



注意 パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。

[Wi-Fi ホットスポットの接続例]



初期の SSID とパスワード	SSID	IPCWiFixxxxxx(13 ～ 32 桁で表示)
	パスワード	12345678

重要 本製品に同梱されている AC アダプターは本製品専用です。他の機器への流用および同梱以外の機器・ケーブルの使用はできません。

●不正利用を防ぐために

1. パスワードについて
   - ・パスワードは、他人に見られたり、教えたりしないでください。
   - ・第三者が設定を行った場合は、必ずパスワードを変更してください。
   - ・修理依頼をするときは、パスワードを初期化してください。
   - ・第三者に譲渡したり、廃棄する場合はパスワードを初期化してください。
2. 弊社ではネットワークセキュリティに関する技術情報についてはお答えできません。
3. 管理用 PC などを紛失したときは第三者による不正使用を避けるために、直ちに加入されている対応サービス提供者などへ連絡してください。
4. 利用権限のない無線 LAN に接続しないでください。無線 LAN 環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク (SSID) が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスとみなされるおそれがあります。(SSID とは、無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります)

重要 管理画面で設定を保存した後、1 分以内にカメラの電源をオフ（電源入力端子から AC アダプターを抜く）にしないでください。変更した設定値が内部不揮発性メモリーへ正しく保存されない場合があります。
管理画面で「保存」のボタンを押すと、「パラメータの設定に成功しました」
の表示が出て、設定内容は即時反映されますが、不揮発性メモリーへの設定変更内容の書き込みは、その後約 1 分経過後に実行されます。
カメラの電源をオフにする（電源入力端子から AC アダプターを抜く）場合は、最後の設定変更を行ってから 1 分以上経過した後に実施してください。

1 管理用 PC の IP アドレスを以下に設定します。

・Wi-Fi で接続したとき

IP アドレス　　：172.16.0.2 ～ 172.16.0.255（172.16.0.1 以外）
サブネットマスク　　：255.255.255.0

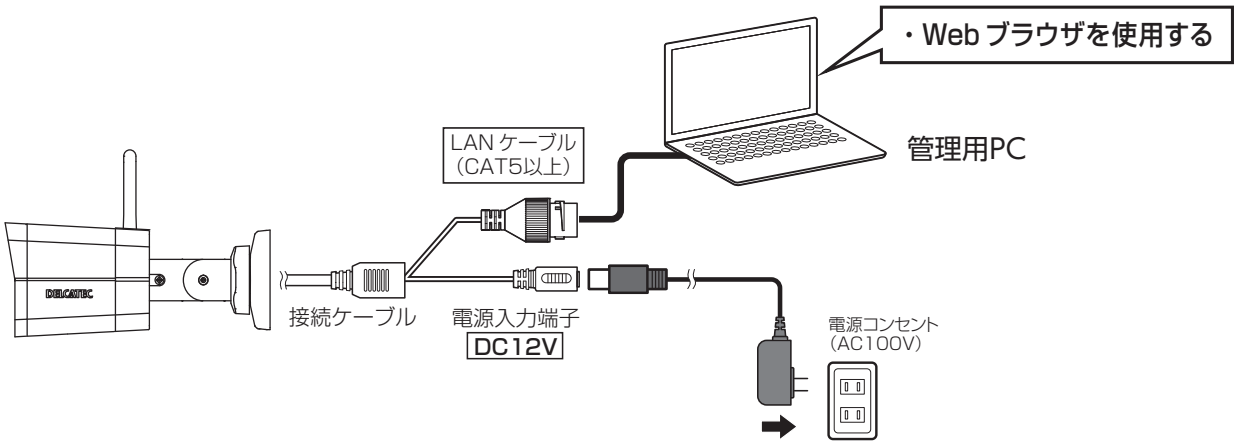
2 管理用 PC で Microsoft Edge または Google chrome を開き、以下のページを表示します。

・Wi-Fi で接続したとき

172.16.0.1

手順３へ進む

[LAN ケーブル接続例]



重要 本製品に同梱されている AC アダプターは本製品専用です。他の機器への流用および同梱以外の機器・ケーブルの使用はできません。

1 管理用 PC の IP アドレスを以下に設定します。

・LAN ケーブルで接続したとき

IP アドレス　　：192.168.1.1 ～ 192.168.1.255（192.168.1.13 以外）
サブネットマスク　　：255.255.255.0

✎ カメラ単独で PC と直接接続している場合に設定してください。
管理用 PC の IP アドレス設定方法は、下記リンクをご参照ください。
https://qa.dxantenna.co.jp/faq_detail.html?id=2848

2 管理用 PC で Microsoft Edge または Google chrome を開き、以下のページを表示します。

・LAN ケーブルで接続したとき

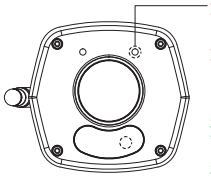
192.168.1.13

手順３へ進む

✎ ルーターなど DHCP サーバー機能がある機器を接続すると、上記のアドレスではアクセスできなくなります。その場合は、ネットワークカメラに割り振られている IP アドレスを入力してアクセスしてください。

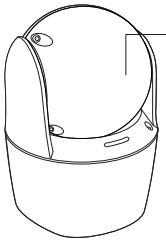
各カメラのネットワーク接続時の LED の点灯は以下の通りです。

CNW3CBF1



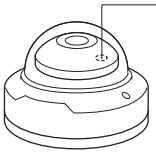
赤色点灯：起動時
赤色点滅：ネットワーク切断時
(Wi-Fi 設定中)
緑色点灯：ネットワーク接続時
緑色点滅：ネットワーク切断時
(Wi-Fi 設定なし)
Wi-Fi スポットで接続中は
LED は点灯 / 点滅しません。

CNW3CPZ1



緑色点灯：ネットワーク接続時
緑色点滅：ネットワーク切断時

CNW3CDF1



赤色点灯後、しばらくしてから
赤色点滅になり、その後消灯します

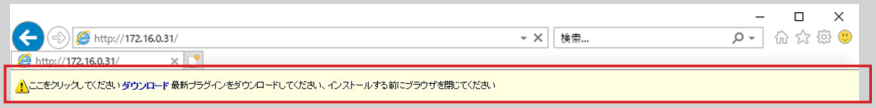
3 **ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力してログインします。**

初期設定ユーザー名　　：admin
初期設定パスワード　　：123456

重要 **初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。**
ログイン後、パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。
パスワードの変更方法は➡ 94 ページ「管理画面にアクセスするパスワードを変更したい」を参照してください。

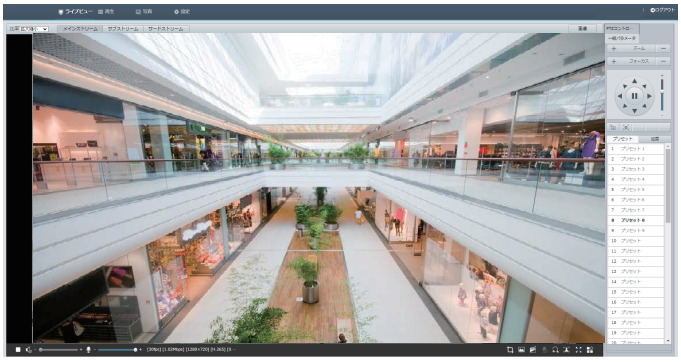
●間違ったユーザー名･パスワードで 5 回連続ログインに失敗すると、その後正しいユーザー名･パスワードを入力しても、ログインが一時的に行えなくなります。その場合は、約 5 分間待ってから再度ログインしてください。ID/ パスワード入力を間違った回数は表示されませんので、ご注意ください。

✎ [最新のプラグインをダウンロードしてインストールするには､･･･]という黄色い帯が表示されたら、クリックし、画面の案内に従ってプラグインをインストールしてください。

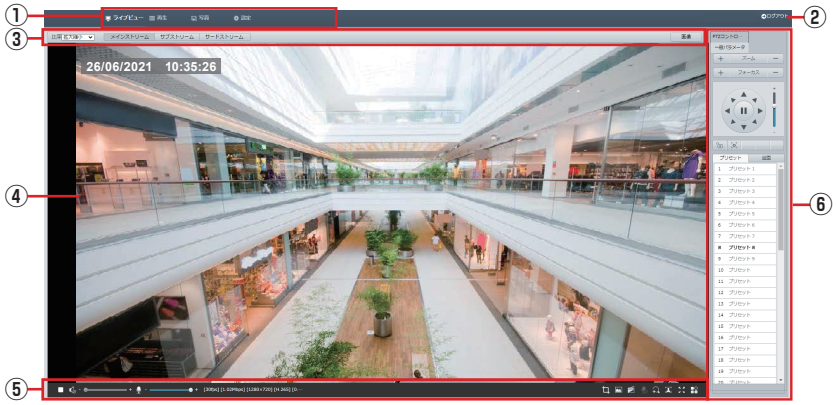


※ プラグインをインストールする際、ご利用の環境により文字化けしたエラーメッセージが表示される場合があります。
[すでに古いバージョンの Surveillance Viewer がインストールされているため、このバージョンをインストールできません。「コントロールパネル」の「アプリと機能」を使用してインストール済みの SurveilLANceViewer を削除してください。]
このエラーメッセージが表示された場合は、ブラウザをいったん閉じ、Surveillance Viewer プラグインを削除してから、再度ログイン・プラグインのインストールをお試しください。

ホーム画面が表示されます。



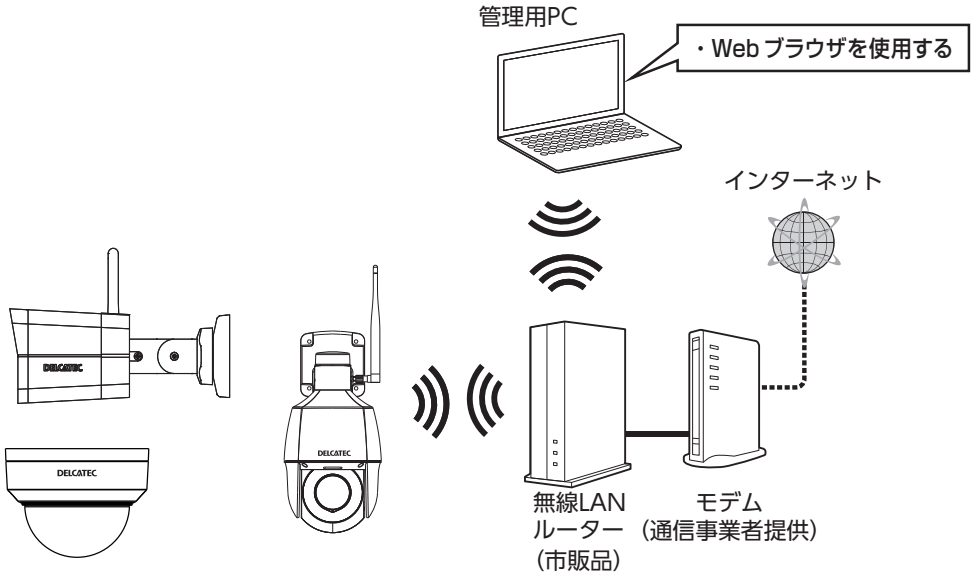
接続しているカメラのライブビューやメインメニューなどが表示されます。



番号	項目	内容
①	**メインメニュー**	**ライブビュー**：ライブビュー画面を表示します。 **再生**：映像再生画面を表示します。 ➡ 22 ページ「映像を再生する」 **写真**：［設定］→［ビデオと音声］→［スナップショット］でスケジュールを設定し、スナップショットを ON にすると、［CommonServer］→［SnapshotPicture］に記録された日付・時刻のファイルが生成され、その中の画像を表示、およびファイルの書き出しができます。 **設定**：設定画面を表示します。 ➡ 25 ページ「運用・設定—各種設定をする」
②	**ログアウト**	管理画面からログアウトします。
③	**映像メニュー**	**比率**：映像の表示方法を設定します。 **拡大縮小：** 画面の縦または横のサイズに合わせて映像を拡大・縮小します。余白部分は黒色表示されます。 **伸縮：** 画面サイズに合わせて映像を縦横それぞれ伸縮します。 **オリジナル：** 拡大・縮小せずにそのまま表示します。 **メインストリーム／サブストリーム／サードストリーム**：ストリーム表示を切り替えます。 （サードストリーム：CNW3CPZ1） **画像**：画像設定画面を表示、画質の調整を行います。
④	**ライブビュー**	カメラの現在の映像が表示されます。
⑤	**ツールメニュー**	➡ 14 ページ「ツールメニュー」
⑥	**コントロールパネル (CNW3CPZ1)**	カメラの操作パネルが表示されます。 （表示されるパネルはカメラによって異なります。） ➡ 15 ページ「コントロールパネル」

複数のカメラを接続する

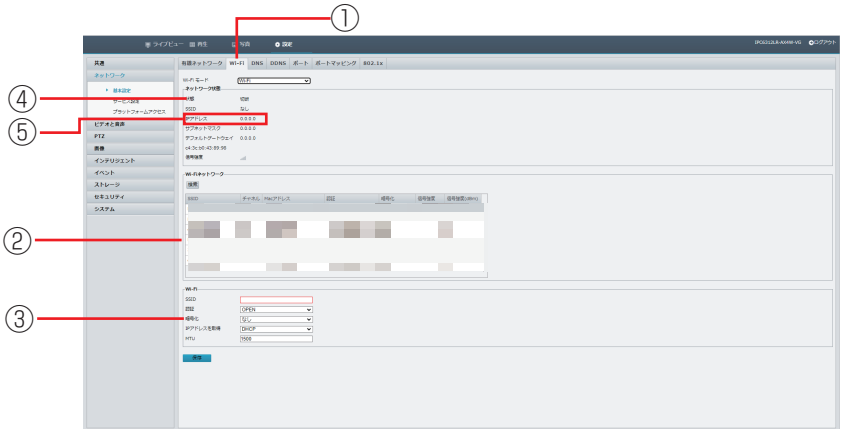
本製品のカメラは、無線 LAN ルーターに接続することによって、管理用 PC と無線 LAN 接続をすることができます。



1 **「管理画面について」（➡ 7 ページ）の手順 1 ～ 3 を設定します。**

2 **「Wi-Fi」に設定します。**

①管理画面から［設定］－［ネットワーク］－［基本設定］－［Wi-Fi］をクリックします（➡ 37 ページ）。



②接続する無線 LAN ルーターを選択します。
③接続した無線 LAN ルーターの SSID やパスワードを設定します。
④「状態」が「接続」と表示されると、カメラと無線 LAN ルーターの接続が完了です。
⑤表示されている IP アドレスをメモします。

3 **管理用 PC の IP アドレスを変更します。**
手順２の⑤で控えた IP アドレスの下記のように入力します。

例：192.168.2.101
- 手順２の⑤で控えた IP アドレスを除いた 1 ～ 255 まで値を入力する
- 手順２の⑤で控えた IP アドレスと合わせる

4 **管理用 PC を使って、手順２で設定した無線 LAN ルーターを選択します。**
(2 台目以降、１台目と同じ無線 LAN ルーターに接続している場合は、スキップしてください)

5 **管理用 PC で Microsoft Edge または Google chrome を開き、手順２の⑤で控えた IP アドレスのページを表示します。**

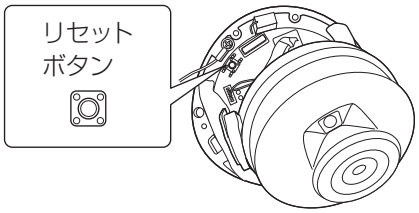
6 **２台目以降のカメラを登録するときは、上記手順の１～５までを繰り返します。**
Microsoft Edge または Google chrome のタブを切り換えることによって、登録したカメラの管理画面を表示します。

管理画面が表示されないとき
・管理用 PC を再起動してください。 ・ブラウザのキャッシュを削除して、管理用 PC を再起動してください。 ・「サイトのアクセス許可」の設定に Web サイトの URL を追加してください。 ・管理用 PC 側の IP アドレスの最後の値を変更してください。

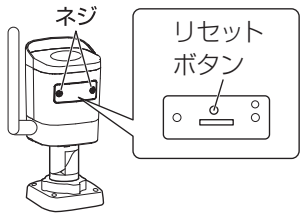
リセットボタンについて

本製品のカメラには、リセットボタンがあります。リセットボタンを押すと工場出荷設定に戻すことができます。

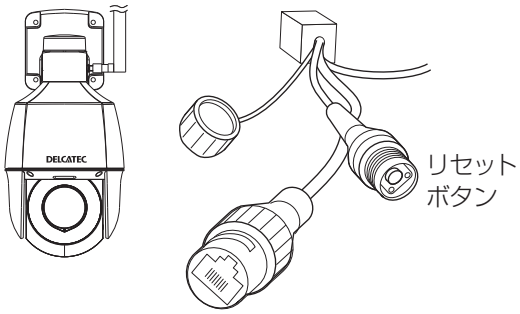
CNW3CDF1



CNW3CBF1



CNW3CPZ1

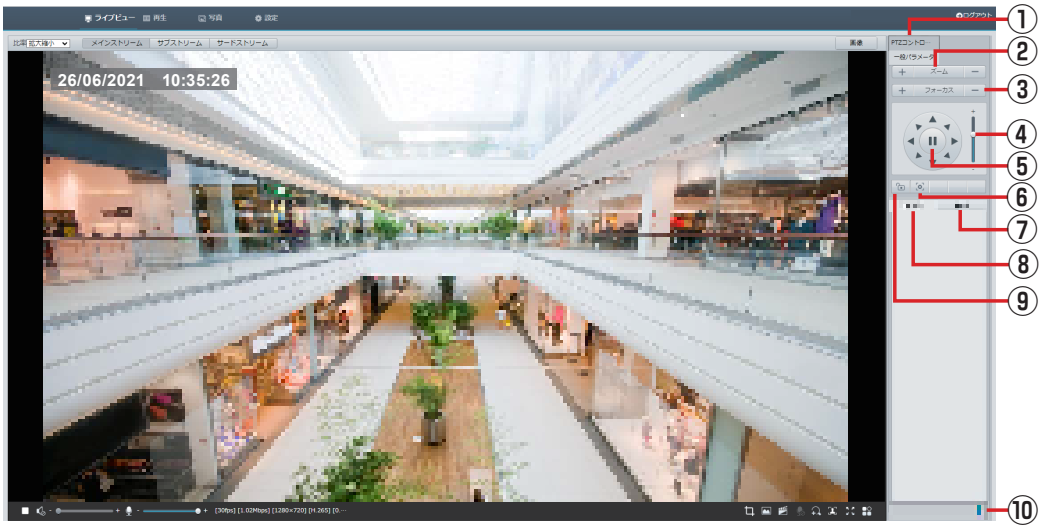


ツールメニュー

番号	項目	内容
①		撮影中の映像の再生／停止を切り替えます。
②		スピーカー音量を調節します。
③		マイク音量を調節します（CNW3CPZ1）。
④		映像を指定した範囲のサイズをピクセル単位で表示します。 再度クリックすると、画面を終了します。 指定範囲は調整することができます。
⑤		スナップショットを撮影します。 スナップショットは、［設定］メニューから［共通］－［ローカルパラメータ］－［スナップショット］－［フォルダ］で設定されているフォルダー内に、「Snap/（撮影された日付）」のフォルダが作成され、その中に保存されます。 保存場所例 C:\Users\WebPlugin_IPC\IPCNB\Snap\192.168.1.13\2023-06-18
⑥		録画データを管理用 PC に保存します。 録画データは、［設定］メニューから［共通］－［ローカルパラメータ］－［録画］－［フォルダ］で設定されているフォルダー内に、「Record/（撮影された日付）」のフォルダが作成され、その中に保存されます。 保存場所例 C:\Users\WebPlugin_IPC\IPCNB\Record\192.168.1.13\2023-06-18
⑦		マイクを使用し、双方向通話を開始します（CNW3CPZ1）。
⑧		映像を拡大表示します。 アイコンをクリックした後、マウスで拡大する範囲を指定します。
⑨		［ビデオと音声］－［スナップショット］で設定したスナップショットが動作します。
⑩		映像を全画面表示します。 ダブルクリックまたは ESC キーを押すと元の画面に戻ります。
⑪		コントロールパネルの表示／非表示を切り替えます（CNW3CPZ1）。 ➡ 15 ページ

コントロールパネル

PTZ コントロール（ズーム、パン、チルト）、フォーカス機能は、コントロールパネルで操作ボタンができます（対応するカメラによって異なります）。



番号	項目	内容
①	PTZ コントロール	**一般パラメータ**：画像補正、露出モード、シャッタースピード、WDR の設定ができます。 **PTZ コントロール**：PTZ コントロールの設定ができます（CNW3CPZ1）。
②	ズーム	ズーム操作ができます。
③	フォーカス	フォーカス操作ができます。
④		カメラの動作スピードを設定します。（1：遅い～ 9：早い）
⑤		カメラの方向（パン・チルト）をコントロールします。 ※ライブビュー画面上でマウスカーソルを各方向に移動させるとマウスカーソルが方向カーソルに変わります。その状態でクリック、または長押しすることでもカメラ方向をコントロールすることができます。
⑥		自動で焦点を合わせます
⑦	巡回	パトロールを開始します。 プリセット、巡回を追加します。 **巡回追加方法：**⑤でカメラの方向を決めてから [巡回] を押し、＋で「ルート ID」、「ルート名」を入力し、巡回設定を追加します。
⑧	プリセット	カメラ方向、ズーム設定を記憶します。 **プリセット追加方法：**⑤でカメラの方向を決めてから [プリセット] を押し、＋で「プリセット No.」、「プリセット名」を入力し、カメラ方向のプリセットを追加します。
⑨		カメラ方向、ズーム設定が固定されます。 解除状態では、 が表示されます。

運用・設定—録画・再生する

●各設定画面等においては、設定後に［保存］をクリックしなければ設定が反映されません。
設定を完了する際は、必ず最後に［保存］をクリックしてください。

microSD カードにデータを保存する

カメラにセットした microSD カードにビデオ映像を保存することができます。（microSD カードへの映像録画は、補助的な録画先としてお使いください。）

- 本製品の電源をオフにするときは、必ず microSD カード録画を停止してください。録画中に電源をオフにすると、microSD カードのデータが破損する可能性があります。
- microSD カードのデータが破損して見ることができなくなった場合は、microSD カードを再フォーマットしてください。

録画を開始する

1 カメラに microSD カードをセットします。

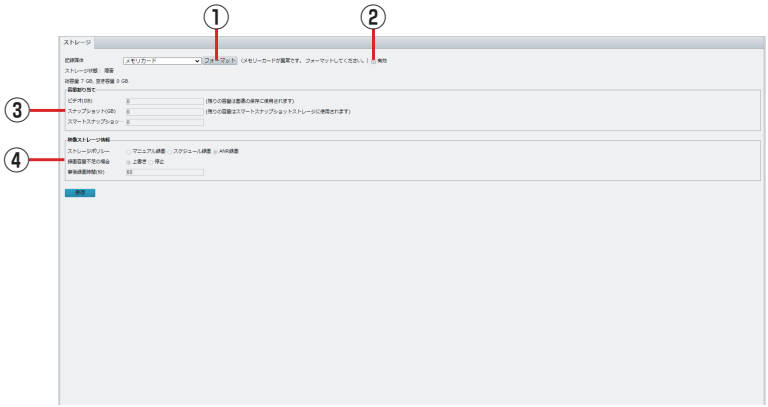
セット方法はカメラによって異なります。

microSD カードの種類	microSD カード容量
microSDHC/microSDXC カード（クラス 10 以上）	（CNW3CBF1・CNW3CDF1）最大 128GB
	（CNW3CPZ1）最大 256GB

重要 **本製品は microSD カードのホットスワップに対応しておりません。microSD カードのセットは、カメラの電源をオフにした状態で行ってください。**

2 管理画面から［設定］－［ストレージ］をクリックします。

3 ストレージ画面が表示されますので、以下を設定します。



①必要に応じてフォーマットを実行します。

- 初めて本製品で microSD カードを使用する場合は、フォーマットを実行してください。
- フォーマットを実行すると、microSD カード内に保存されていたデータはすべて消去されます。
- ［フォーマット］をクリックすると、フォーマットが実行されます。
- フォーマットが完了すると、システムが再起動します。

②［有効］にチェックを入れます。

［有効］/［無効］を切り替えると、システムが再起動します。

③映像に割り当てる容量を設定します。

> **映像について**
> ・microSD カードに録画されたデータ（ts ファイル）は、パソコンなどで再生することはできません。

通常は表示される最大値のままご利用ください。スケジュールで撮影されたスナップショットは microSD カードに保存されます。ファイルの書き出しを実施することで、jpg ファイルとして PC に保存できます。

④設定を行います。

項目	内容
ストレージポリシー	録画方式として「マニュアル録画」、「スケジュール録画」、「ANR 録画」のいずれかを選択します。 **マニュアル録画**：常時映像を録画します。 **スケジュール録画**：スケジュール設定に応じて録画します。選択すると、スケジュール編集ウィンドウが表示されますので、スケジュール設定を行います。 ➡ 75 ページ「スケジュール編集ウィンドウ」 **ANR 録画**：カメラとレコーダーの通信ができない時、カメラ内のストレージに録画し、通信が回復したときに、ネットワークレコーダに映像データを保管します。（カメラ内に microSD カードの装着が必要です）。
録画容量不足の場合	**上書き** 容量が満杯になると、古い録画データを消去して新しい録画データを上書きします。 **停止** 容量が満杯になると、録画を停止します。
事後録画時間（秒）	アラームによる録画の場合、アラームが終了してから録画が継続する時間の長さ。

4 ［保存］をクリックして設定を保存します。

FTP サーバーに保存する

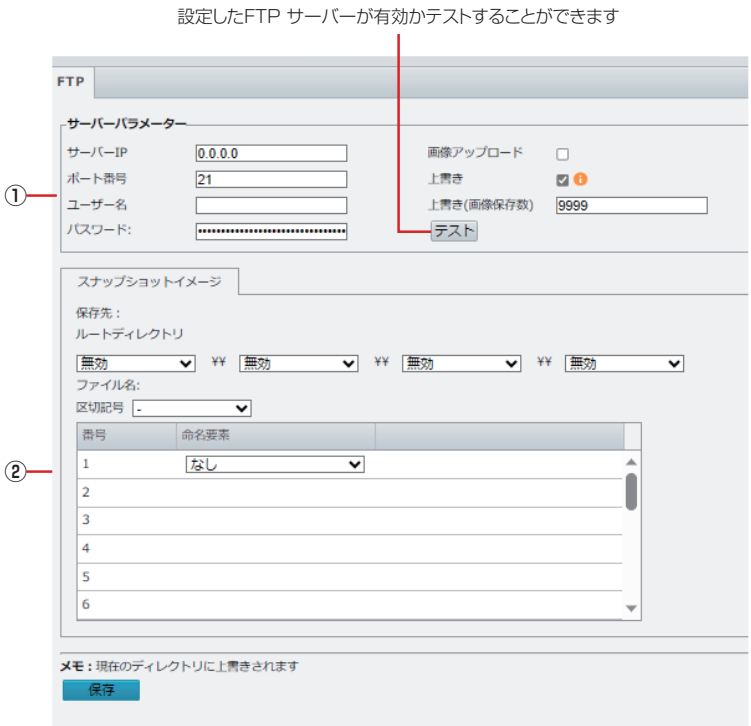
撮影した映像をネットワーク経由で FTP サーバーに保存することができます。
本機能は SIer 向けに用意した機能のため、弊社からのサポート対象外です。

1 管理画面から［設定］－［ストレージ］－［FTP］をクリックします。

2 ［FTP］画面が表示されますので、以下の情報を入力します。

CNW3CPZ1

CNW3CBF1･CNW3CDF1

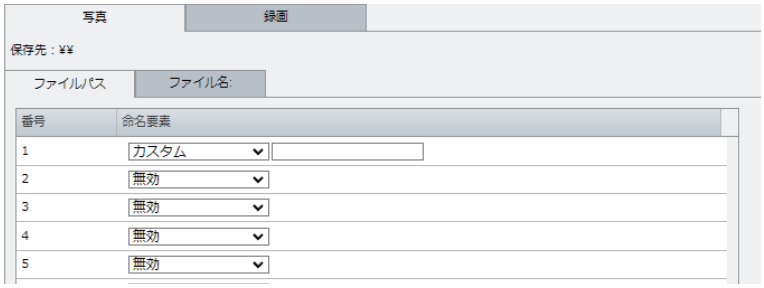


①「写真」または「録画」を選択し、FTP サーバ情報を設定します。

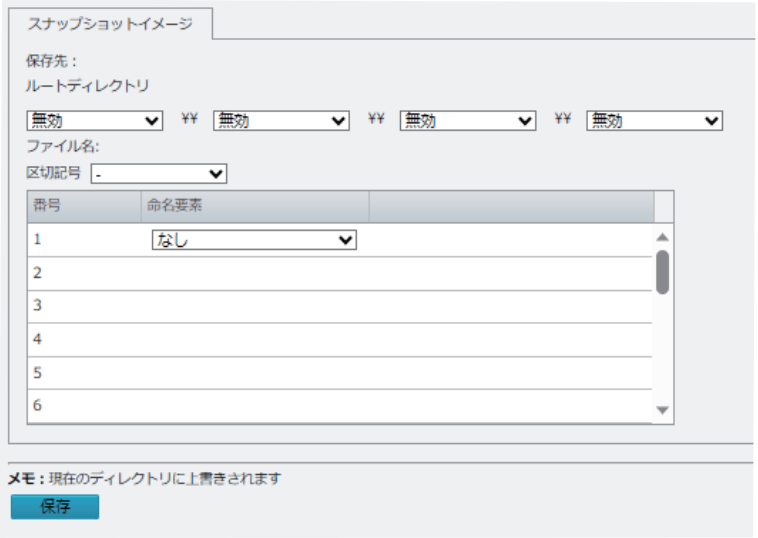
項目	内容	
サーバーパラメーター	サーバー IP	FTP サーバー情報を入力します。
	ポート番号	
	ユーザー名	
	パスワード	
	確認	（CNW3CPZ1）パスワードを再入力します。
	画像アップロード	チェックを入れると、スナップショット画像をアップロードします。
	（CNW3CPZ1）ビデオをアップロード	チェックを入れると、録画データをアップロードします。
	（CNW3CPZ1）UTF8 形式に変換する	チェックを入れると、ファイル名を UTF 8形式のエンコーディング形式に変換します。
	（CNW3CBF1・CNW3CDF1）上書き	チェックを入れると、画像数が指定した数に達すると、古いデータを上書きして保存します。
	（CNW3CBF1・CNW3CDF1）上書き（画像保存数）	［上書き］にチェックがされている場合、画像ファイル数の上限を指定します。
	テスト	FTP サーバーへの接続テストを行います。

②画像を保存するディレクトリとファイル名（「写真」を選択したときのみ）を設定します。

CNW3CPZ1



CNW3CBF1・CNW3CDF1



(CNW3CPZ1) **写真**	**ファイルパス**	FTP サーバーにスナップショットを保存するパス設定します。
	ファイル名	ファイル名の命名要素を設定します。
(CNW3CPZ1) **録画**	**ファイルパス**	FTP サーバーに録画データを保存するパス設定します。
(CNW3CBF1・CNW3CDF1) **スナップショットイメージ**	**保存**	データを保存するディレクトリを指定します。
	ファイル名	ファイル名の命名要素を設定します。

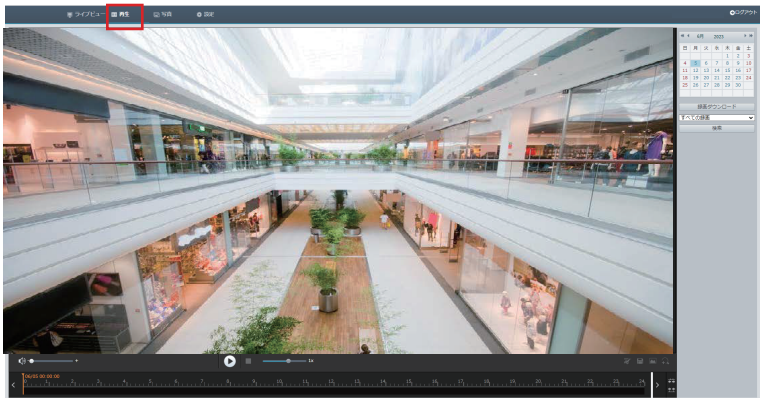
③ [保存] をクリックします。

映像を再生する

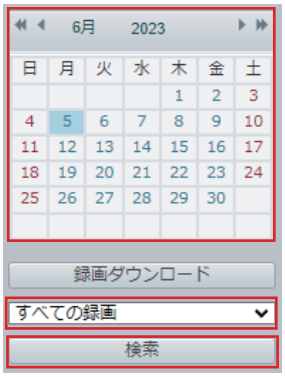
カメラに接続されている microSD カード内の映像を再生します。

1 **管理画面メインメニューから［再生］をクリックします。**

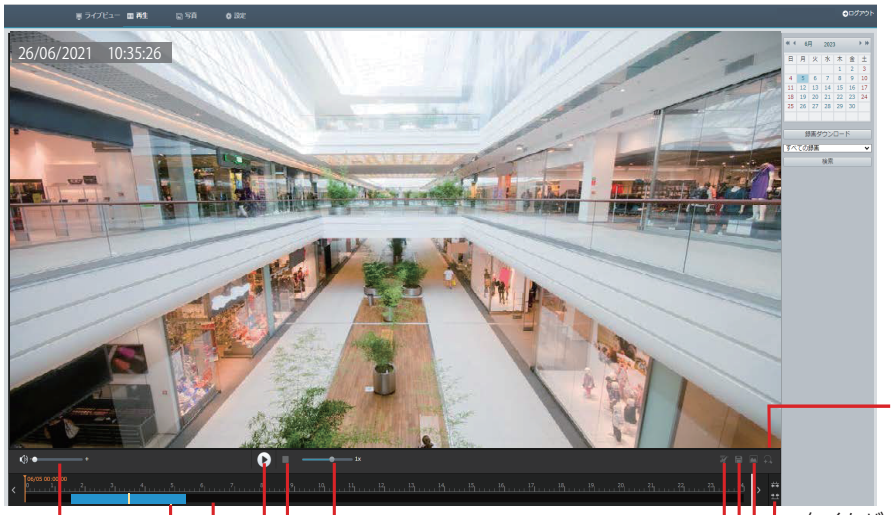
再生画面が表示されます。



2 **カレンダーで日付をクリックし、［すべての録画］または［アラーム録画］を選択し、［検索］をクリックします。**



3 **検索結果が表示されるので、再生する期間をダブルクリックして再生します。**



拡大表示します。

音量調整

現在の再生位置

録画データのある時間は
青色のバーで表示されます。

停止

再生／
一時停止

再生スピードの調節

※1×以外の速度は、
映像によって正確
ではありません。

タイムバーを拡大/縮小
表示します。

スナップショットを保存します。

録画映像を保存します。

録画映像を切り取ります。

※別売のネットワークレコーダーを接続したとき

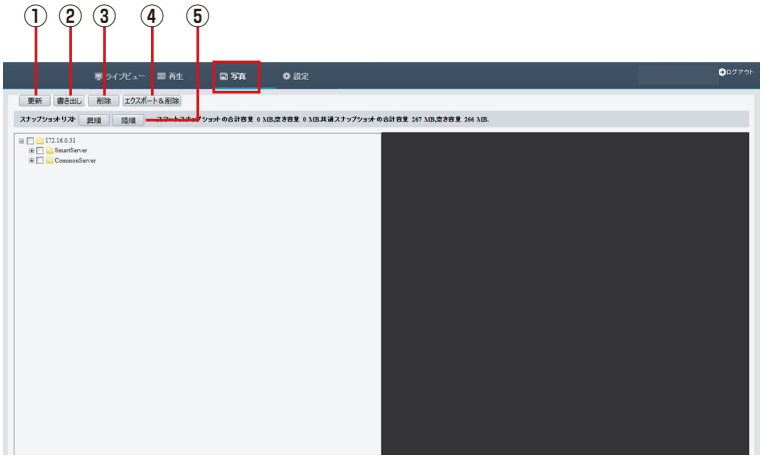
映像内に表示される時刻と、別売のネットワークレコーダーの画面下部に表示される時刻は、映像のデコード速度の差によってずれが生じることがあります。

スナップショットは、[設定] メニューから [共通] ー［ローカルパラメータ］ー［録画･スナップショット］ー［フォルダ］で設定されているフォルダー内に､｢Snap/（IP アドレス / 撮影された日付)｣のフォルダが作成され、その中に保存されます。（➡ 14 ページ）

写真を管理する

microSD カードに自動保存されているスナップショット画像の表示と、他ストレージへの書き出しを行います。

管理画面メインメニューから［写真］をクリックします。



番号	項目	内容
①	**更新**	写真フォルダを更新します。
②	**書き出し**	選択したスナップショット・フォルダを管理用 PC に書き出します。
③	**削除**	選択したスナップショット・フォルダを削除します。
④	**エクスポート＆削除**	選択したスナップショット・フォルダを書き出し、削除します。
⑤	**昇順／降順**	フォルダを並べ替えます。

運用・設定—各種設定をする

●各設定画面等においては、設定後に［保存］をクリックしなければ設定が反映されません。
設定を完了する際は、必ず最後に［保存］をクリックしてください。

Web 設定画面について

カメラの設定は、カメラの Web 設定画面にアクセスしてください。
カメラによっては一部対応していない機能もあります。

メニュー項目	内容	ページ
共通	製品情報、ユーザー情報、時間などの設定を行います。	27 ページ
ネットワーク	Wi-Fi 設定、IP アドレスや E メールなどの設定を行います。	37 ページ
ビデオと音声	映像と音声などの設定を行います。	47 ページ
PTZ	PTZ カメラ機能の各種設定を行います（CNW3CPZ1 のみ）。	54 ページ
画像	画質や OSD、プライバシーマスクの設定を行います。	58 ページ
インテリジェント	検知方法を設定することができます。	69 ページ
イベント	アラームを設定します。	72 ページ
ストレージ	microSD カードや FTP サーバーの設定を行います。	17、19ページ
セキュリティ	ユーザーやアクセスの設定を行います。	83 ページ
システム	システムの設定を行います。	89 ページ

重要 **Web 設定画面で設定を保存した後、1 分以内にカメラの電源をオフ（電源入力端子から AC アダプターを抜く）にしないでください。**
変更した設定値が内部不揮発性メモリーへ正しく保存されない場合があります。
Web 設定画面で「保存」のボタンを押すと、「パラメータの設定に成功しました」の表示が出て、設定内容は即時反映されますが、不揮発性メモリーへの設定変更内容の書き込みは、その後約 1 分経過後に実行されます。
カメラの電源をオフにする（電源入力端子から AC アダプターを抜く）場合は、最後の設定変更を行ってから 1 分以上経過した後に実施してください。

共通

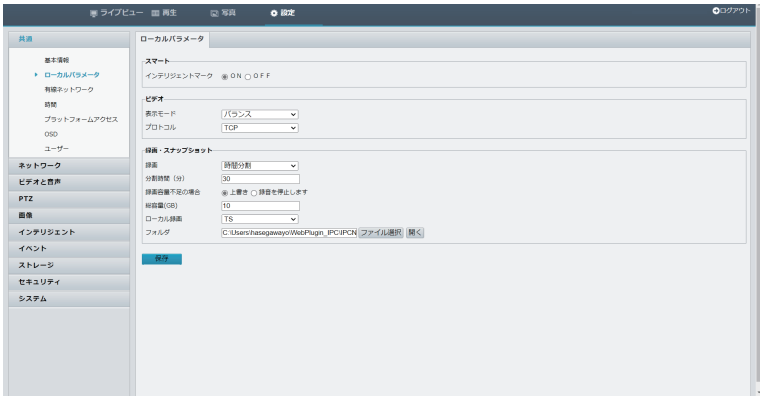
基本情報

本製品の基本的な情報を設定します。

項目	内容
基本情報	本カメラの基本情報が表示されます。
バージョン情報	ファームウェア、ハードウェア、ブートの各バージョンと、シリアル番号が表示されます。
状態	本カメラの状態を表示します。
共通設定	クリックすると、各設定画面に移動します。

ローカルパラメータ

ホーム画面（ライブビュー画面）のスナップショットやパソコンへの録画に関する設定、再生画面のスナップショット・録画に関する設定です。



項目	内容
スマート（CNW3CPZ1 のみ）	「インテリジェントマーク」を ON にすることで、画面上のターゲットにマークを表示します。 **インテリジェントマーク** **ON**：「インテリジェントマーク」を有効にします。 **OFF**：「インテリジェントマーク」を無効にします。
ビデオ	**表示モード** **遅延最小**：ライブビデオのタイムラグを最小限にしたい場合に選択します。 **バランス**：ライブビデオのタイムラグを短くしたい場合に選択します。 **なめらか**：ネットワークが良好な状態にある場合に選択します。 **カスタム**：映像の遅延となめらかさのバランスを設定します。値が大きいほど映像が滑らかになりますが、遅延時間が長くなります。（6 ～ 25、初期値：6） **プロトコル** PC でデコードされるメディアストリームの送信用のプロトコルを設定します。 **TCP（初期値）**：ファイル転送などに適しています。 **UDP**：ストリーミング再生などに適しています。

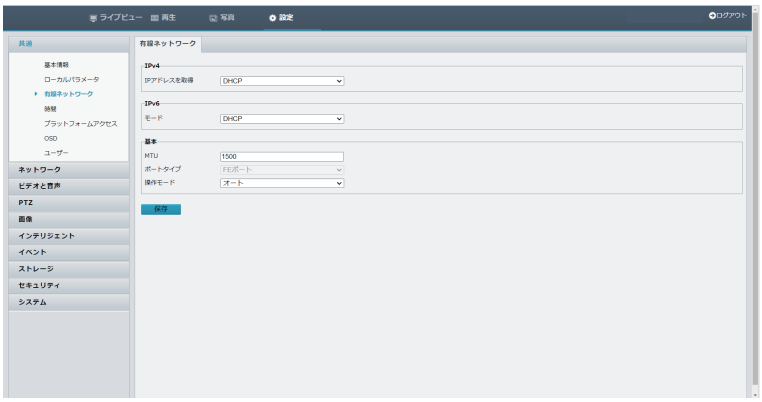
<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>録画・スナップショット</td><td>
<table>
<tr><td>録画</td><td>
<table>
<tr><td>時間分割</td><td>分割指定した時間でファイルを分割します。</td></tr>
<tr><td>サイズ分割</td><td>指定したサイズでファイルを分割します。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>分割時間（分）</td><td>［時間分割］を選択している場合に、分割する時間を設定します。</td></tr>
<tr><td>録画容量不足の場合</td><td>上書き
容量が一杯になると、古い録画データを消去して新しい録画データを上書きします。
録画を停止します
容量が一杯になると、録画を停止します。</td></tr>
<tr><td>総容量（GB）</td><td>映像・画像の上限容量を設定します。</td></tr>
<tr><td>ローカル録画</td><td>映像データをファイル保存する形式を指定します。
ts ファイルは、パソコンでは再生ができません。</td></tr>
<tr><td>フォルダ</td><td>PC 上のローカルフォルダを指定します。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

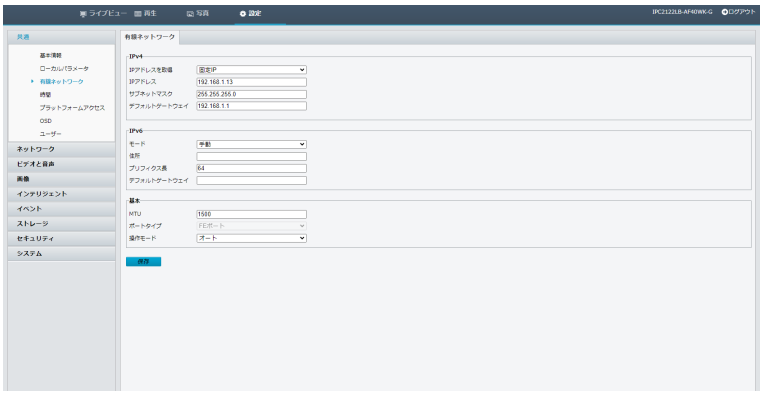
有線ネットワーク

カメラが他のデバイスと通信できるように、カメラの IP アドレスなどの通信設定を変更します。

CNW3CPZ1



CNW3CBF1･CNW3CDF1



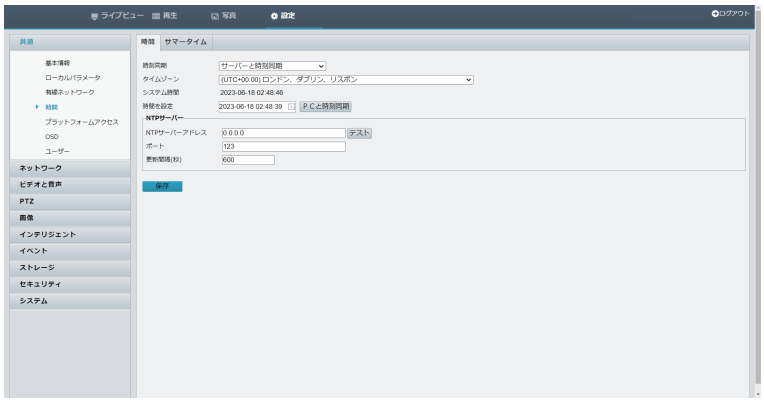
<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>IPv4</td><td>
<table>
<tr><td rowspan="3">IP アドレスを取得</td><td>固定 IP</td><td>IP アドレスを設定します。</td></tr>
<tr><td>PPPoE
（CNW3CPZ1 のみ）</td><td>PPPoE クライアント機能で IP アドレスを自動的に取得します。</td></tr>
<tr><td>DHCP</td><td>自動的に IP アドレスを取得します。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>IPv6</td><td>本製品では設定できません。</td></tr>
<tr><td>基本</td><td>
<table>
<tr><td>MTU</td><td>MTU = Maximum Transmission Unit1 回の転送で送信できるデータの最大値（単位バイト）を設定します（576 ～ 1500）。通常は変更する必要はありません。</td></tr>
<tr><td>ポートタイプ</td><td>ポートタイプが表示されます。変更はできません。</td></tr>
<tr><td>操作モード</td><td>イーサネットの通信速度と通信方式を選択します。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

● 設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

時間

製品の時間設定を行います。

■時間



項目	内容
時刻同期	時間の同期方法を設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。
システム時間	カメラの時刻を表示します。
時間を設定	［時刻同期］を［システム設定と同期］を選択すると、［PC と時刻同期］をクリックして設定または手動で日時を設定できます。
NTP サーバー	**NTP サーバーアドレス** **ポート** **更新間隔** NTP サーバー情報を入力します。 「テスト」をクリックすると、接続テストができます。

カメラの電源を切ると日時設定が保持されず、日時がずれる場合があります。（※電源を切っても時計は機能します）。時刻があっていない場合は、NTP サーバーと時刻同期をするなど日時の設定を実施することをお勧めします。

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

■サマータイム

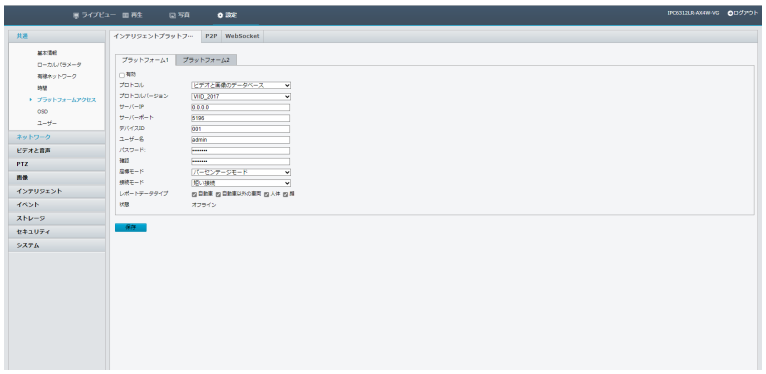
項目	内容
サマータイム	サマータイムの ON/OFF を設定します。
開始時刻	サマータイムの開始日時を設定します。
終了時刻	サマータイムの終了日時を設定します。
サマータイム調整	時差の調整時間を設定します。

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

プラットフォームアクセス

使用するサーバーの設定などを行います。
本機能は SIer 向けに用意した機能のため、弊社からのサポート対象外です。

■インテリジェントプラットフォーム（CNW3CPZ1）



項目	内容
プラットフォーム 1/ プラットフォーム 2	FTP サーバーなどの使用するサーバーを設定します。

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

■ P2P

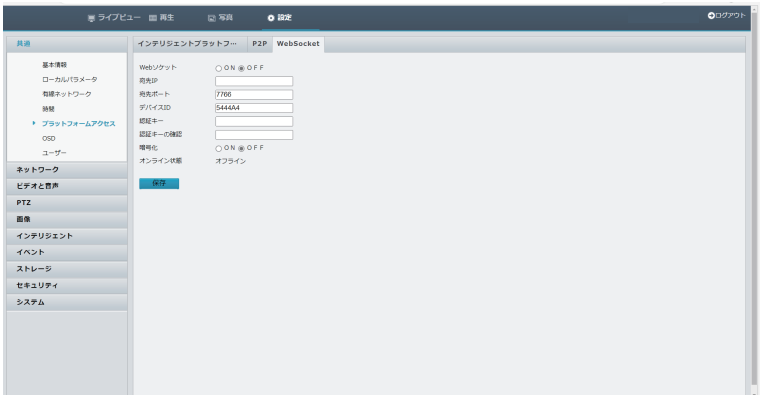
スマートフォンまたはタブレットと本製品が、ネットワーク上で直接データをやり取りできる機能です。

項目	内容
P2P	ON にすることで、サーバー経由でアプリにデバイスを追加することができます。 このとき、デバイスがネットワークに接続されている必要があります。
暗号化	ON にすることで、データを暗号化します。
サインアップなしで追加	デバイス追加時にサインアップが必要かどうかを設定します。
アドレス	サーバーのアドレスが表示されます。
登録コード	デバイス追加に必要な登録コードです。 スキャンの QR コードを読み取ると、このコードが表示されます。
デバイス状態	デバイス状態がオンラインの場合、QR コードを使用して、アプリにデバイスを追加することができます。
スキャン	アプリにデバイスを追加するときに読み取ります。 アプリから QR コードを読み取る必要があります。

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

■ WebSocket（CNW3CPZ1）

スマートフォンまたはタブレットと本製品が、ネットワーク上で直接データをやり取りできる機能です。
本機能は SIer 向けに用意した機能のため、弊社からのサポート対象外です。



項目	内容
WebSocket	ON にすることで、クライアントとサーバー間でリアルタイムかつ双方向の通信ができるようになります。
宛先 IP	サーバーの IP アドレスを設定します。
宛先ポート	サーバーのポート番号を設定します。
デバイス ID	デバイス ID を設定します。
認証キー	認証キーを入力します。
認証キーの確認	認証キーを再入力します。
暗号化	ON にすることで、データを暗号化します。
オンライン状態	カメラの接続状態を表示します。

● 設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

OSD

画面上に表示されるテキストを設定します。

項目	内容
テキスト設定ウィンドウ	**有効**：チェックを入れると、画面上にテキストエリアが追加されます。 **番号**：画面上のエリア番号に対応します。 **オーバーレイ OSD**：テキストエリアに追加する項目を選択します。 **X 軸／Y 軸**：テキストエリアの場所を座標で設定します。
表示形式	表示される文字の表示形式を設定します。 ・「効果」…文字の背景を設定したりすることができます。 ・フォントサイズ…文字の大きさを設定できます。 ・フォント色…文字の色を設定できます。 ・最小マージン…マージンを全角、半角、なしに設定できます。 ・日付形式…年月日の表示方法を選択できます。 ・時刻形式…時刻を 24 時間表示または 12 時間表示を選択できます。

✎ チェックボックスにチェックを入れないで他の画面に移動した場合、設定した内容が保存されないことがあります。

ユーザー

ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。管理者だけがこれらの操作を実行できます。

ユーザー追加画面

項目	内容
ユーザー名	32 文字以内でユーザー名を設定します。英数字（大文字、小文字）と一部の記号（_、-、+）のみ入力できます。
ユーザータイプ	追加できるユーザーは「一般ユーザー」と「オペレーター」（CNW3CPZ1 のみ）があります。一般ユーザーは、カメラの設定変更は行えず、ライブビュー視聴・映像保存のみ可能です。オペレーターは、パラメーター、ライブビュー、再生などの権限を選択できます。
パスワード	9 ～ 32 文字でパスワードを設定します。英数字（大文字、小文字）と一部の記号（_、-）のみ入力できます。パスワードの強度が下に表示されます。 ※パスワード入力欄の下側にパスワードの強度が表示されます。「強」になるように、必ず英字と数字・記号を組み合わせたパスワードを設定してください。
確認	確認のためパスワードを再度入力します。
権限を選択（CNW3CPZ1 のみ）	[権限を選択] にチェックを入れると、権限を許可することができます。

ネットワーク

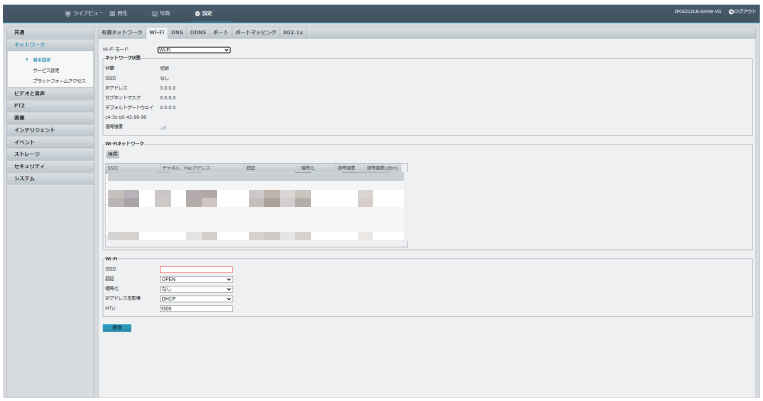
基本設定

■有線ネットワーク

カメラが他のデバイスと通信できるように、カメラの IP アドレスなどの通信設定を変更します。
設定方法は 29 ページを参照してください。

■ Wi-Fi

カメラが別売のネットワークレコーダーまたはその他のデバイスと無線 LAN 通信ができるように、カメラの Wi-Fi 設定を変更します。



項目	内容
Wi-Fi モード	**OFF** Wi-Fi 接続を OFF にします。 **Wi-Fi** カメラをルーターなどに接続するときに設定します。 ✎ **Wi-Fi モードを「Wi-Fi」に設定している場合** 無線 LAN ルータをご使用になる場合は、SSID を選択すると、パスワードのみ設定が必要になります。その他の項目は、個別に設定は不要です。 **WiFi ホットスポット** カメラから無線信号を受信し、ネットワークに結びつける設定をします。 ✎ **Wi-Fi モードを「Wi-Fi ホットスポット」に設定している場合** 接続するカメラの SSID（表示例：IPCWiFi316xxxxxx）を選択し、パスワードを入力してください（➡ 7 ページ）。その他の項目は、個別に設定は不要です。 **重要** **Wi-Fi ホットスポットに変更したときは、必ずパスワードを変更してください。**

項目	内容
Wi-Fi モード	**Wi-Fi カスケード** 別売のネットワークレコーダー接続時に、カスケード機能を使用することができます。詳しくは、下記 URL の別売のネットワークレコーダー（CNW3SZ11）の設定ガイド（PDF 版) をご確認ください。 https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manualImg/CNW3SZ11.pdf **Wi-Fi 接続中** レコーダーからカメラを登録するモードです。

Wi-Fi モードを「Wi-Fi」に設定している場合

項目	内容
ネットワーク状態	現在のカメラの Wi-Fi 接続状態を表示します。
Wi-Fi ネットワーク	カメラを接続するルーターなどを選択します。
Wi-Fi	**SSID**：SSID を設定します **認証**： **OPEN**：パスワードなどの設定の必要はありません。 **SHARED**：共有キーの設定が必要になります。 **WPA-PSK/ WPA2-PSK**：事前に共有されたキーを利用してネットワークに接続します。 **WPA2-enterprise（CNW3CPZ1）**：各ユーザーごとに固有の認証情報を使用します。 **パスワード**：Wi-Fi パスワードを設定します（「認証」の「OPEN」では表示しません）。 **確認**：Wi-Fi パスワードを再入力します（「認証」の「OPEN」では表示しません）。 **暗号化**： **なし**：暗号化しません。 **WEP**：ご使用はおすすめしません。 **CCMP**：MAC を使用してデータの安全性と認証をおこないます。 **TKIP**：ご使用はおすすめしません。 **CCMP-TKIP**：ご使用はおすすめしません。 **IP アドレスを取得**： **固定 IP**：IP アドレスを設定します。 **DHCP**：自動的に IP アドレスを取得します。 **MTU**：MTU = Maximum Transmission Unit1 回の転送で送信できるデータの最大値（単位バイト）を設定します（576 ～ 1500）。通常は変更する必要はありません。 **EAP 方式**：セキュリティ要件が高い環境で使用します（WPA2-enterprise 設定時）。 **ユーザー名**：ユーザー名を設定します（WPA2-enterprise 設定時）。

Wi-Fi モードを「Wi-Fi ホットスポット」に設定している場合

SSID	SSID を設定します。
パスワード	パスワードを入力します。
確認	パスワードを再入力します。
チャンネル	チャンネルを設定します。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを設定します。

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

重要 **Wi-Fi ホットスポットに変更したときは、必ずパスワードを変更してください。**

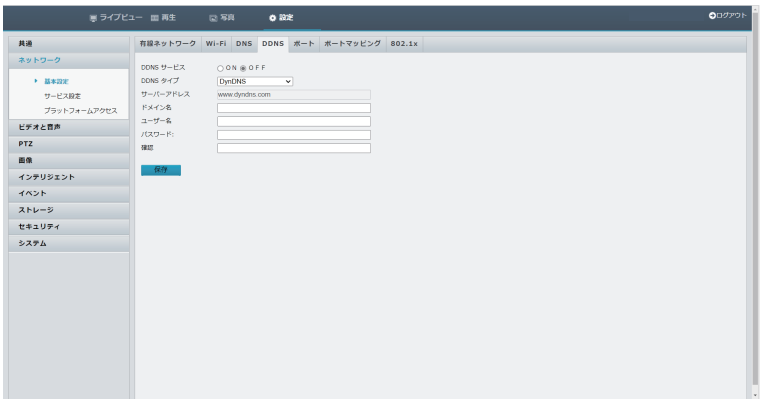
■ DNS

DNS サーバーのアドレスを設定します。

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

■ DDNS

DDNS（ダイナミック DNS）を利用すると、WAN 側が固定 IP アドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバーなどを利用できるようになります。
この機能を利用するには、SkylinkDDNS サービスに登録する必要があります。



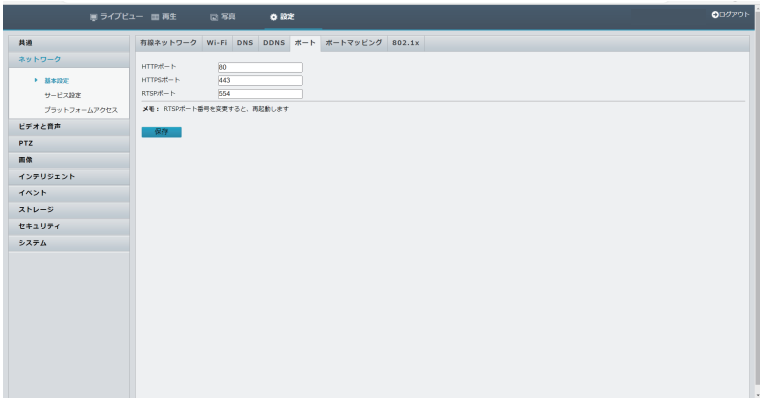
項目	内容
DDNS サービス	DDNS のオン／オフを選択します。
DDNS タイプ	SkylinkDDNS サービスのみ対応しています。
サーバーアドレス	「clear-net.jp」で固定されています。
ドメイン名	Skylink サービス登録時の内容を設定します。
ユーザー名	DDNS の情報を入力します。
パスワード	
確認	

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

✎ **シリアル変換ページはこちら**
本製品をユーザー登録してご利用いただいている方に無償で提供されるダイナミック DNS サービスです。
ドメイン名は、「ホスト名 .clear-net.jp」で提供されます。
https://www.dxantenna.co.jp/product/skylink/skylink_ddns_for_dx_.html

■ポート

ポート番号を設定できます。



■ポートマッピング

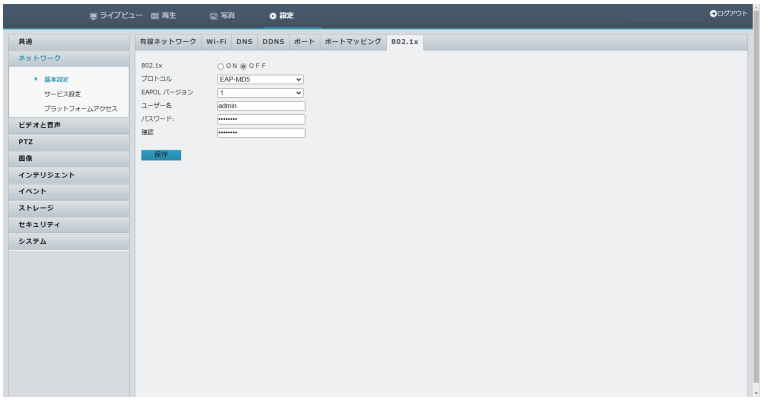
ポートマッピング機能を使用する場合に設定します。

項目	内容
ポートマッピング	ポートマッピング機能を使うときは［ON］にチェックを入れます。
マッピングタイプ	UPnP または手動を選択します。
UPnP マッピング	オートまたは手動を選択します。
ポートタイプ	［マッピングタイプ］を［手動］に設定しているときに、ポート番号を設定します。
状態	設定されたポートが占有されている場合は、［無効］と表示されます。

● 設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

802.1x

IEEE 802.1X の認証規格を利用して、ネットワークに接続するための設定です。
本機能は SIer 向けに用意した機能のため、弊社からのサポート対象外です。



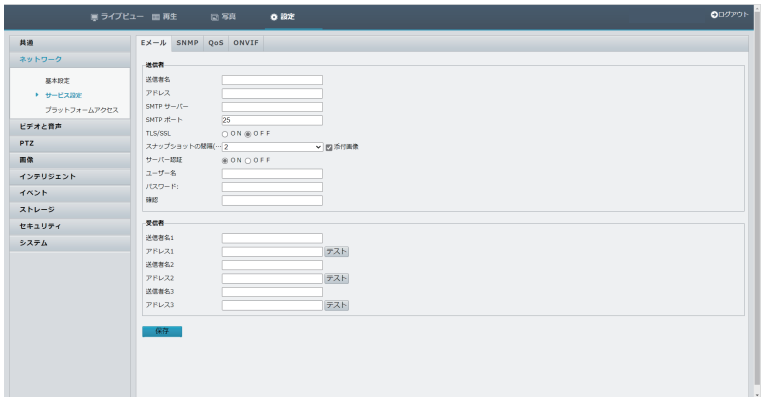
項目	内容
802.1x	ON にすることで、IEEE 802.1x でのネットワーク接続が有効になります。
プロトコル	ハッシュによるチャレンジ & レスポンス認証を行います。
EAPOL バージョン	LAN 上で動作する認証プロトコルです。
ユーザー名	ユーザー名を設定します。
パスワード	パスワードを設定します。
確認	確認のためパスワードを再入力します。

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

サービス設定

■ E メール

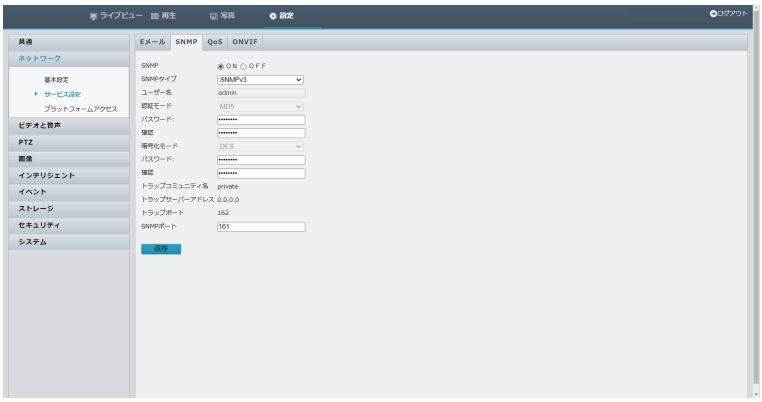
アラーム発生時に送信する E メールの設定をします。
（アラーム発生時に E メールを送付するようにする設定は、［イベント］ － ［標準アラーム］設定で行います。）



項目	内容	
送信者	送信者名	メールの送信者となる名前とアドレスを設定します。
	アドレス	
	SMTP サーバー	SMTP サーバー情報を入力します。
	SMTP ポート	
	TLS/SSL	
	スナップショットの間隔（秒）	スナップショットの間隔を設定します。 「添付画像」にチェックを入れると、メールに画像を添付することができます。
	サーバー認証	サーバー認証が必要な場合は［ON］を選択し、認証用のユーザー名とパスワードを入力します。
	ユーザー名	
	パスワード	
	確認	
受信者	送信者名 1	受信者の情報を入力します。 宛先は最大 3 件まで登録できます。
	アドレス 1	
	送信者名2	
	アドレス2	
	送信者名3	
	アドレス3	

■ SNMP

SNMP を使用してプラットフォームに接続し、システム時刻を取得します。
本機能は SIer 向けに用意した機能のため、弊社からのサポート対象外です。



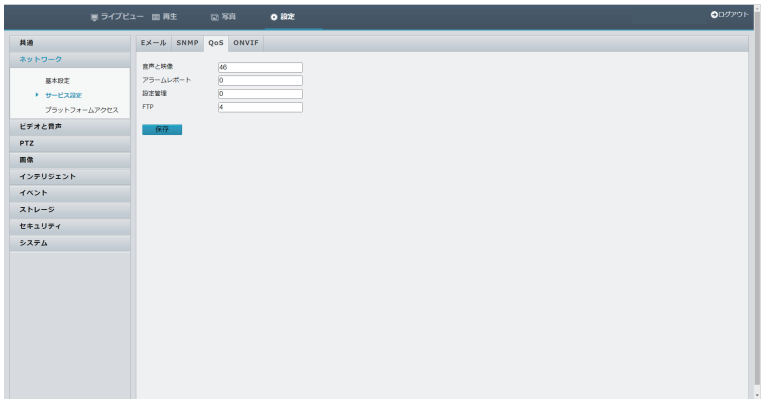
項目	内容
SNMP	ON にすることで、SNMP が有効になります。
SNMP タイプ	SNMP のタイプを選択します。
ユーザー名	SNMP の情報を入力します。
認証モード	
パスワード	
確認	
暗号化モード	
パスワード	
確認	
トラップコミュニティ名（CNW3CPZ1）	
トラップサーバーアドレス（CNW3CPZ1）	
トラップポート（CNW3CPZ1）	
SNMP ポート（CNW3CPZ1）	

● 設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

✎ SNMP マネージャー側で、カメラの機器名称は取得できません。

■ Qos

特定の通信を優先したり制限することで通信の帯域幅を確保し、通信の質を保ちます。
本機能は SIer 向けに用意した機能のため、弊社からのサポート対象外です。

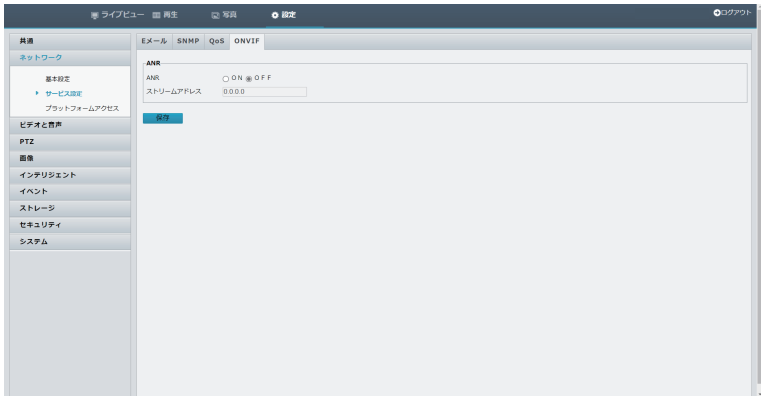


項目	内容
音声と映像	音声と映像の通信の優先度を決定します。 デフォルトの「46」では、最も優先度が高くなります。
アラームレポート	アラームとレポートの通信の優先度を設定します。
設定管理	設定管理の通信優先度を設定します。
FTP	FTP サーバーの通信優先度を設定します。

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

■ ONVIF（CNW3CPZ1）

別売のネットワークレコーダーでカメラの映像を録画中、通信が途切れたときに、録画映像はカメラの microSD カード（市販品）に保存されます。再度、通信したときに、microSD カード（市販品）からネットワークレコーダーに保存されます。
別途、microSD カード（市販品）が必要です。microSD カードの差し込み方法については、付属の取扱説明書をご確認ください。



項目	内容	
ANR	**ANR**	ANR の ON/OFF の設定をします。
	ストリームアドレス	接続しているネットワークレコーダーの IP アドレスをせってします。

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

プラットフォームアクセス

■インテリジェントプラットフォーム (CNW3CPZ1)

使用するサーバーの設定などを行います。
設定方法は 33 ページの「プラットフォームアクセス」ページを参照してください。

■ P2P

スマートフォンまたはタブレットと本製品が、ネットワーク上で直接データをやり取りできる機能です。
設定方法は 33 ページを参照してください。

■ WebSocket(CNW3CPZ1)

スマートフォンまたはタブレットと本製品がネットワーク上で直接データをやり取りできる機能です。
設定方法は 34 ページを参照してください。

ビデオと音声

ビデオ

■ビデオ

映像の設定を行います。メインストリーム・サブストリーム・サードストリームを個別に設定できます。

（イラスト：CNW3CPZ1）

項目	内容
撮影モード	映像の解像度とフレームレートを設定します。
ビデオ圧縮	ビデオの圧縮規格を選択します。
解像度	ビデオの解像度を選択します。
フレームレート（fps）	1 秒あたりのフレーム数を設定します。
ビットレート（kbps）	1 秒あたりの転送ビット数値を設定します。
ビットレートタイプ	**固定ビットレート** ビデオストリームの品質を変えることによって特定のビットレートを維持するために使用されます。帯域幅が限られている場合は、固定ビットレートが優先されます。ビデオの品質が変動し、シーン内の動きが増えるとビデオの品質が著しく低下するデメリットがあります。 **可変ビットレート** ビットレートが変わるかわりに、できるだけ映像を一定の品質に保ちます。高画質が要求される場合や、画像に動きがある場合は、可変ビットレートを選択することをおすすめします。
画質	この設定は［可変ビットレート］を選択している場合のみ有効です。スライダーをビットレートの方向に動かすとビットレートが減少して、画質が悪くなることがあります。スライダーを品質の方向に動かすとビットレートが増加して、画質が改善されます。
スマートエンコード	**OFF**：設定を OFF にします。 **基本モード**：録画目安時間が OFF 時の約 1．3 倍です **アドバンスドモード**：録画目安時間が OFF 時の約 2.0 倍です スマートエンコードのいずれかのモードを設定しておくと、カメラ側で自動的に I フレーム間隔や平滑化の最適設定を行います。 ※スマートエンコード設定は、ビデオ圧縮が H.264 と H.265 の時のみ設定可能です。MJPEG では設定できません。 ※スマートエンコードが有効になっていると、30 以上のフレームレートはサポートされません。

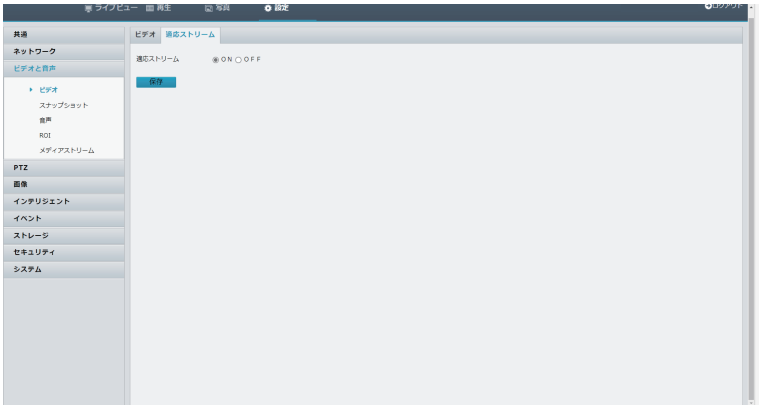
以降の設定は「スマートエンコード」をＯＦＦにすると、設定が可能です

I フレーム間隔	2 つの隣接する I フレーム間のフレーム数を設定します。
GOP	イントラフレーム（I フレーム）とインターフレームの配置順序を指定します。
平滑化	スムージングの程度を設定します。スムージングを増やすと画質に影響を与えます。
SVC	本項目は、将来の機能拡張用として用意しています。OFF のままでご利用ください。

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

■適応ストリーム

ネットワークの状況に応じて、自動的にストリーム調節をする機能です。

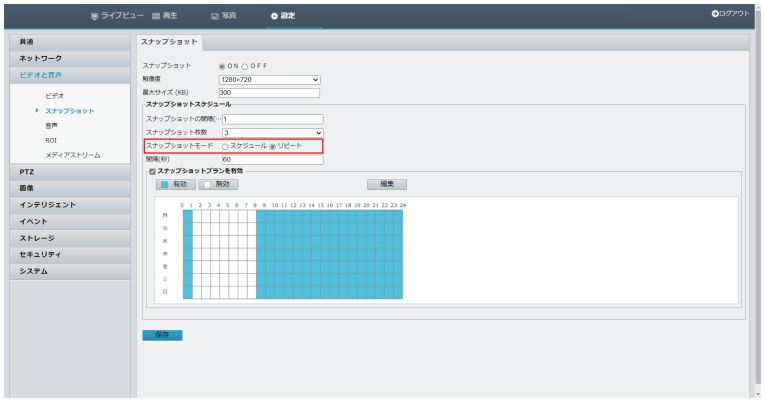


項目	内容
適応ストリーム	［ON］を選択すると有効になります。（初期値：ON）

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

スナップショット

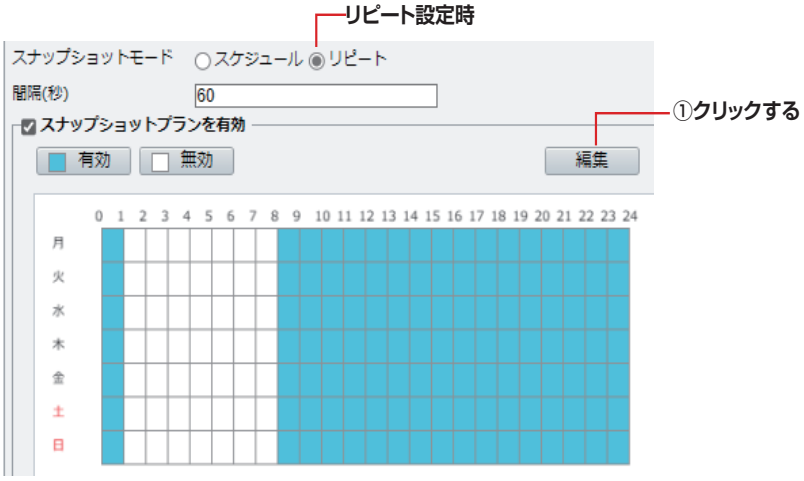
スナップショット画像の解像度、画質、および撮影の間隔を設定します。
下記の画面は、「スナップショットモード」を「リピート」に設定した場合です。
CNW3CBF1、CNW3CDF1 は「スナップショットプランを有効」の機能はありません。



項目	内容
スナップショット	[ON] を選択すると、設定した間隔でスナップショット画像を撮影します。
解像度	スナップショット画像の解像度を設定します。
最大サイズ（KB）	スナップショット画像 1 枚あたりの最大サイズを指定します。
スナップショットスケジュール	

スナップショットの間隔（秒）	スナップショットを連続して撮影する間隔を設定します。
スナップショット枚数	一度に撮影するスナップショットの枚数を設定します。（1 ～ 3 枚）
スナップショットモード	**スケジュール**：スナップショット撮影する時刻を設定します。 **リピート**：一定の時間ごとにスナップショットを撮影します。
間隔（秒）	[スナップショットモード] を [リピート] に設定しているときにスナップショットを撮影する間隔を設定します。（1 ～ 86400）

スナップショットモード
スケジュール設定時

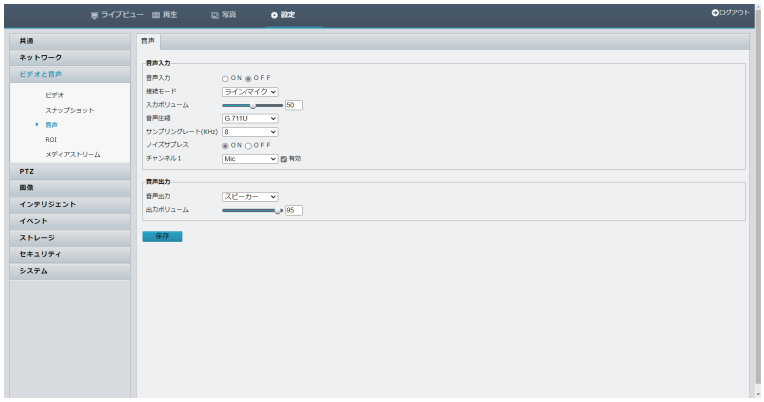
項目	内容
スナップショットスケジュール	**スナップショットモード** リピート設定時（CNW3CPZ1） 

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

✎
スナップショット画像を保存するには別途 FTP サーバーの設定が必要です。
➡ 20 ページの「FTP サーバーへの接続テストを行います。」

音声

カメラの音声エンコードパラメータを設定します。



項目	内容	
音声入力	**音声入力**	［OFF］を選択すると、オーディオデータはエンコードされません。音声が不要な場合は、［OFF］を選択してください。
	接続モード	［ライン/マイク］のみ選択できます。この機能は、2つのオーディオ出力チャンネルを持つデバイスには使用できません。
	入力ボリューム	入力ゲインを設定します。
	音声圧縮	音声の圧縮形式を選択します。
	サンプリングレート (KHz)	「8」「16」「48」で設定ができます。（CNW3CPZ1 のみ）。
	ノイズサプレス	ノイズ抑制のオン／オフを選択します。
	チャンネル 1	［有効］にチェックを入れると、音声出力が有効になります。（対応カメラのみ）
音声出力 (CNW3CPZ1 のみ)	**音声出力**	［スピーカー］のみ選択できます。
	出力ボリューム	出力を設定します（初期値 20）。

● 設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

ROI

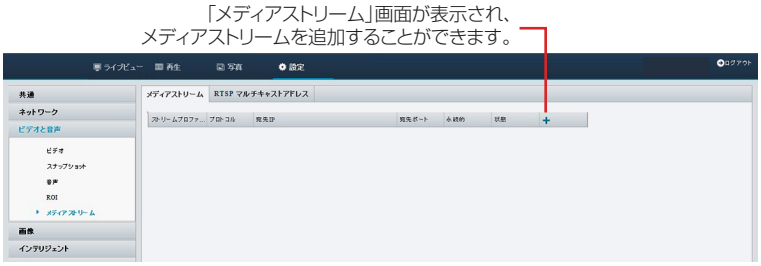
関心領域（ROI）が有効になっていると、ビットレートが不十分な場合、ROI の範囲の画質が優先的に保護されます。

項目	内容
ROI 範囲設定パネル	<table><tr><td> </td><td>ROI 範囲を追加します。 ＋をクリックした後、マウスで画面上をドラッグして範囲を設定します。</td></tr><tr><td> </td><td>ROI 範囲を削除します。</td></tr></table>

メディアストリーム

■メディアストリーム

カメラから確立されたメディアストリームを表示します。また、カメラが UDP または TCP プロトコルで指定された IP アドレスとポート番号にコードストリームを送信するように設定することもできます。設定はカメラの再起動後に有効になります。



メディアストリーム追加

項目	内容
ストリームプロファイル	追加するストリームを設定します。
宛先 IP	
宛先ポート（CNW3CBF1･CNW3CDF1）	
プロトコル	
永続的	[有効] にチェックを入れると、再起動後に自動的に以前設定されたメディアストリームをデバイスに確立させます。

■ RTSP マルチキャストアドレス

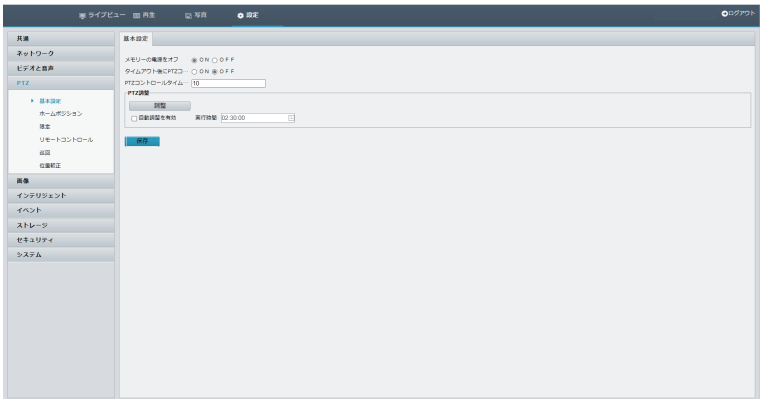
RTSP マルチキャストアドレスを設定すると、RTP プロトコルを介して、サードパーティ製デバイスがカメラから RTSP マルチキャストメディアストリームを要求できるようになります。

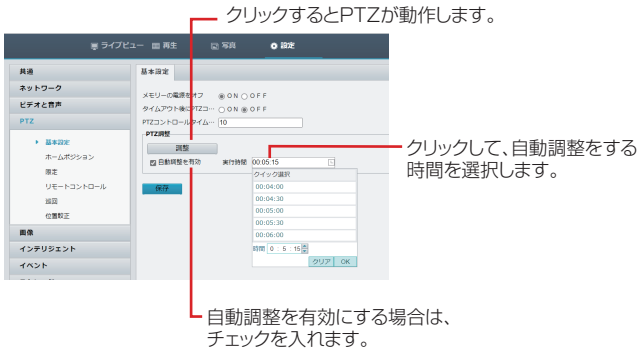
●設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

PTZ

基本設定

PTZ カメラ機能の設定を行います。

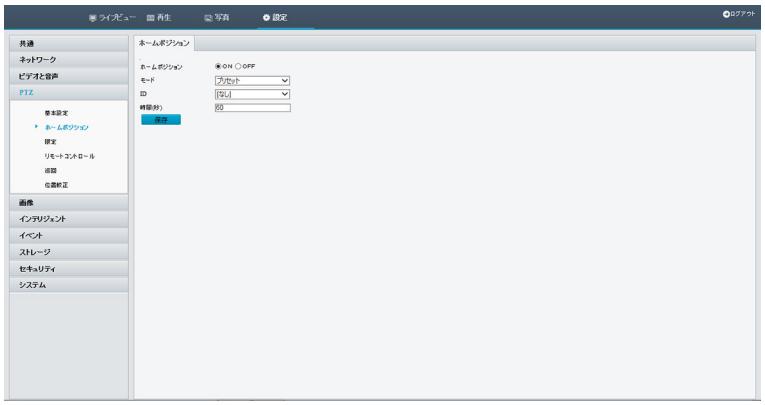


項目	内容
メモリーの電源をオフ	［ON］でカメラ方向を再起動前と同じ位置に回復します。
タイムアウト後にPTZ コントロールを停止します	カメラが一定時間操作されなかったとき、PTZ コントロールの停止の切り替えを設定します。ON にすると、PTZ コントロールを停止します。
PTZ コントロールタイムアウト（秒）	タイムアウトする時間を設定します。（1 ～ 600）
PTZ 調整	PTZ のカメラの位置を、「位置校正」で設定した場所へ自動調整する時間を設定します。 

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

ホームポジション

指定時間内に操作が行われなかった場合に、PTZ カメラを所定の位置（ホームポジション）に戻すことができます。

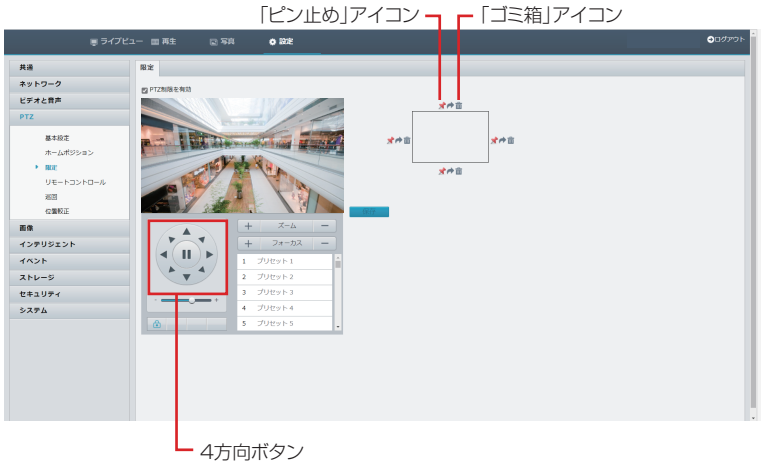


項目	内容
ホームポジション	ホームポジション機能の ON・OFF を切り替えます。
モード	所定の位置を定義するときの PTZ モードを選択します。 ［プリセット／巡回］
ID	モード決定後、選択します。
時間（秒）	PTZ カメラが所定位置に戻るまでの時間を定義します。 （1 ～ 3600）

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

限定

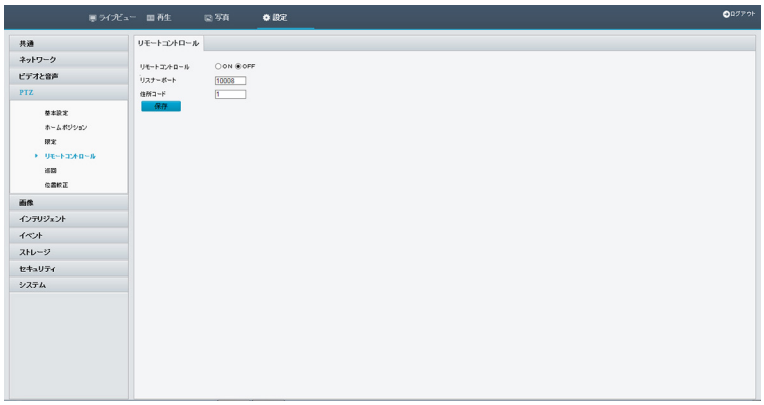
カメラの４方向動作に制限を設定します。



項目	内容
限定	**PTZ 制限を有効** チェックマークを入れると設定された制限を開始します。 **設定方法：** 4 方向ボタンで制限したい方向にカメラを向けます。 📌 を押すと、「ピン止め」以外が青色に替わり、制限が設定されます。 設定が終わったら［保存］をクリックします。 ※ 設定方向を確認したい場合は、青色になった矢印をクリックすると、制限の方向までカメラが動きます。 ※ 設定を解除したい場合は、🗑 をクリックすると青色から灰色になり、設定が解除されます。

リモートコントロール

（ネットワークレコーダ接続時）
ネットワークレコーダー側で PTZ 機能が使用できない場合、リモートで PTZ 機能を制御できます。

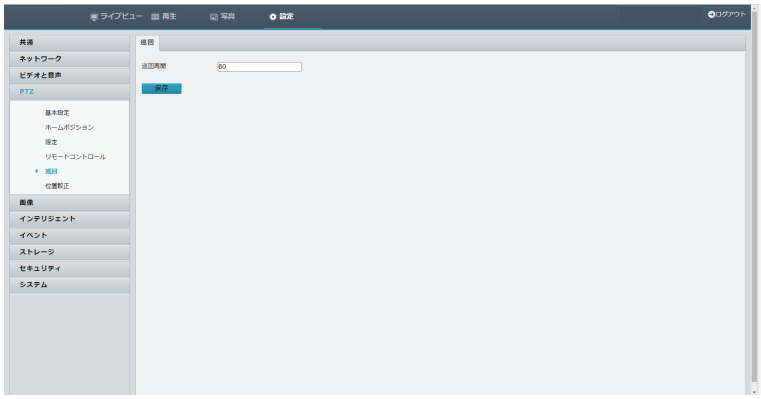


項目	内容
リモートコントロール	リモートコントロール機能のオン・オフを切り替えます。
リスナーポート	カメラのローカルポート番号で、すでに使用されているポートに設定することはできません。必要な場合のみ、初期値から変更してください。 （初期値：10008）
住所コード	カメラは指令を受けたときのコマンドに含まれるアドレスコードを読み取り、判断します。

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

巡回

巡回停止から再度動作させる機能です。



項目	内容
巡回再開（秒）	巡回停止から再開するまでの時間を設定します。 （設定範囲：1 ～ 3600）

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

位置校正

ホームポジション方向、北方向の設定をします。

項目	内容
位置校正	カメラの正面を北向きに設定します。 「手動」を選択し、4 方向ボタンでカメラの正面を北に向け、「北向きに設定」をクリックします。 「北へ進む」のクリックで、設定した方向が確認できます。

画像

画像

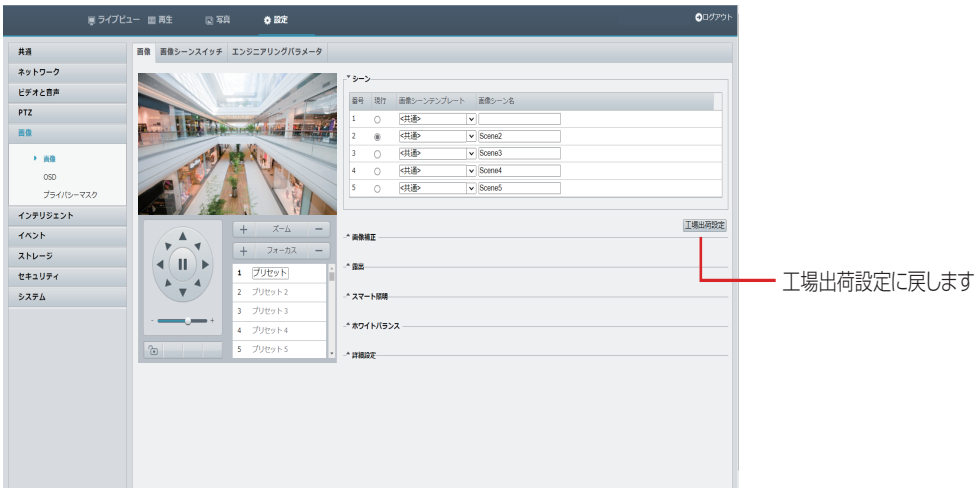
映像の画像設定を行います。
CNW3CBF1、CNW3CDF1：「自動切替有効」にチェックを入れると、以下の設定は不要です。

項目	内容
シーン	シーン設定ウィンドウを表示します。 ➡ 59 ページ「シーン設定ウィンドウ」
画像補正	画像補正設定ウィンドウを表示します。 ➡ 60 ページ「画像補正設定ウィンドウ」
露出	露出設定ウィンドウを表示します。 ➡ 66 ページ「露出設定ウィンドウ」
スマート照明	スマート照明設定ウィンドウを表示します。 ➡ 66 ページ「スマート照明設定ウィンドウ」
ホワイトバランス	ホワイトバランス設定ウィンドウを表示します。 ➡ 65 ページの「ホワイトバランス」ページ「ホワイトバランス設定ウィンドウ」
詳細設定	詳細設定ウィンドウを表示します。 ➡ 66 ページ「詳細設定ウィンドウ」

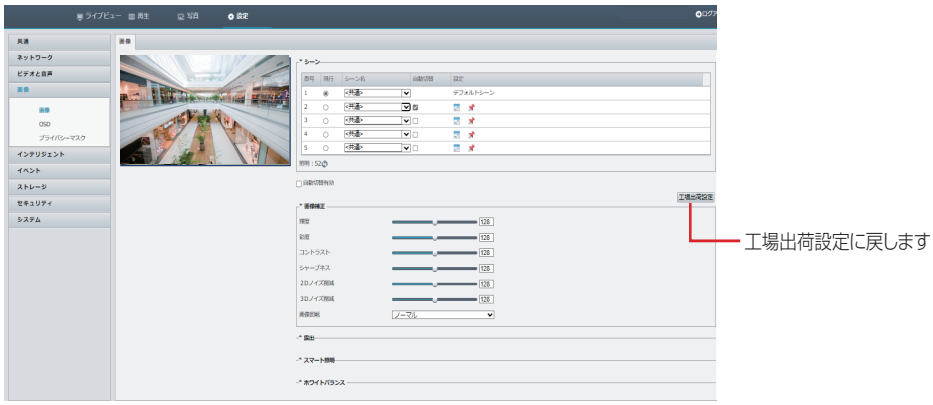
■シーン設定ウィンドウ

本システムには撮影条件に応じた画像設定がシーンとして登録されています。照明や時間によって自動的にシーンが切り替わるように設定することもできます。

CNW3CPZ1



CNW3CBF1、CNW3CDF1



項目	内容
現行	プレビュー映像に選択されているシーン設定を適用します。 （「画像シーンスイッチ」で［自動スイッチを有効］にチェックを入れていると、自動的に現行のシーンが切り替わります（➡ 67 ページ）。）
画像シーンテンプレート（CNW3CPZ1）	あらかじめ登録されているシーンを選択します。シーン選択中は、画像補正や露出などを設定することができます。 **屋内（共通）**：屋内（屋内・屋外）の一般的な撮影に適しています。 **ハイライト補正（道路用）**：こちらを向いた車のヘッドライトが映るような環境に適しています。ヘッドライト等の強い光を抑え、ナンバープレートや運転者の顔が捉えやすくなります。 **WDR**：窓や廊下など、明暗の差が強い場所の撮影に適しています。 **スターライト**：夜間、街灯などの明かりが少ない場所での撮影に適しています。 **侵入防止**：屋外の撮影時、昼間に逆光で画像の周りが白飛びしたり、夜間に画像の黒つぶれが起きるのを防ぎます。 **顔**：複雑な場面での動いている顔を撮影するのに適しています。 **カスタム**：必要に応じて画像設定とシーン名を設定することができます。

項目	内容
シーン名（CNW3CBF1、CNW3CDF1）	あらかじめ登録されているシーンを選択します。シーン選択中は、画像補正や露出などを設定することができます。 **共通**：屋内・屋外の一般的な撮影に適しています。 **屋内**：屋内の撮影に適しています **ハイライト補正（道路用）**：こちらを向いた車のヘッドライトが映るような環境に適しています。ヘッドライト等の強い光を抑え、ナンバープレートや運転者の顔が捉えやすくなります。 **カスタム**：必要に応じて画像設定とシーン名を設定することができます。
自動切替	チェックを入れていると、自動で最適なシーンで撮影します。
設定	スケジュールの設定を行います。 デフォルトの設定にします。

スケジュール設定

をクリックすると、スケジュールの設定ができます。指定した照度数値の範囲内の時に切り替わります。

自動切換えの照度範囲を設定します

スケジュールの開始と終了時間を設定をします

ここの数値が、設定した自動切換えの照度範囲内にある時に切り替わります

■画像補正設定ウィンドウ

項目	内容
輝度	値を大きくするほど（スライダが右にあるほど）、映像が明るくなります。
彩度	値を大きくするほど（スライダが右にあるほど）、彩度が高くなります。
コントラスト	値を大きくするほど（スライダが右にあるほど）、コントラストが強くなります。
シャープネス	値を大きくするほど（スライダが右にあるほど）、シャープネスが強くなります。
2D ノイズ削減	値を大きくするほど（スライダが右にあるほど）、映像中のノイズを減らします。この機能により画像がぼやけることがあります。
3D ノイズ削減	値を大きくするほど（スライダが右にあるほど）、映像中のノイズを減らします。この機能はモーションブラー（または一部のアプリケーションではゴースト）を引き起こす可能性があります。
画像回転	映像を回転表示します。

■露出設定ウィンドウ

項目	内容
画像	露出モードを選択します。

露出モード	

自動	環境に応じて自動的に調整します。
カスタム	手動で露出を設定します。
屋内 50Hz	シャッター周波数を制限して縞模様の出現を減らします。
屋内 60Hz	
手動	シャッター（秒）、感度などを手動で設定します。
低モーションブラー	モーションブラーを減らすために最小シャッターを制御します。

シャッター（秒）	シャッタースピードを設定します（露出モードを手動、カスタム、低モーションブラー設定時）。 動きの速い被写体には速いシャッタースピード、動きの遅い被写体には遅いシャッタースピードが適しています。 ［スローシャッター］を［OFF］に設定しているときは、シャッタースピードの分母の数がフレームレートの数より大きくなるように設定する必要があります。
感度	（露出モードを手動、カスタム、低モーションブラー設定時） カメラがさまざまな照明条件で標準のビデオ信号を出力できるように、画像信号を制御します。
スローシャッター	暗い場所を撮影するときに映像を明るくすることができます。
スローシャッター（最遅設定）	シャッタースピードの下限を選択します。
補正	露出を補正します。
測光制御	カメラが光の強度を測定する方法を設定します。

中央重点平均測光	おもに画像の中央部分で光を測定します。
評価測定（BLC）	露出オーバー部分の明るさを無視して測定します。逆光時に有効ですが、画像全体の明るさは低下します。
顔測光（CNW3CPZ1）	露出モードが手動のとき、中央重点平均測光で固定します。 露出モードが手動以外のときは、中央重点平均測光／評価測定 (BLC) ／顔測光／スポット測光から選択できます。
スポット測光	画像の一点で測定します。

※ このパラメーターは、露出モードが手動に設定されていない場合にのみ設定できます。

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>画像</td><td>
<table>
<tr><td>デイ / ナイトモード</td><td>
<table>
<tr><td>自動</td><td>明るさに応じて自動的にナイトモードとデイモードを切り替えます。</td></tr>
<tr><td>デイ</td><td>カラー画像で撮影します。</td></tr>
<tr><td>ナイト</td><td>赤外線 LED を使用し、白黒画像で撮影します。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>デイ / ナイト感度</td><td>デイモードとナイトモードを切り替えるときの感度を選択します。
「高」に設定すると、デイモードとナイトモードが切り替わりやすくなります。
この設定は、「デイ / ナイトモード」が「自動」に設定されているときのみ有効です。
「特別低」に設定すると、デイモードとナイトモードが切り替る感度が極端に鈍くなります。</td></tr>
<tr><td>デイ / ナイト切替（秒）</td><td>デイモードとナイトモードを切り替えるまでの時間を設定します。
この設定は、「デイ / ナイトモード」が「自動」に設定されているときのみ有効です。</td></tr>
<tr><td>WDR</td><td>WDR（ワイドダイナミックレンジ）機能を有効にして、被写体のコントラストが高い場合でも映像を鮮明にします。</td></tr>
<tr><td>WDR レベル</td><td>WDR のレベルを設定します。</td></tr>
<tr><td>WDR ストライプ抑制</td><td>有効にすると、WDR 処理におけるノイズ問題を軽減し、より鮮明な映像にします。</td></tr>
<tr><td>WDR オン感度</td><td>WDR を OFF から ON にする感度を設定します。数値を大きくするほど WDR が ON になるタイミングが早くなります。</td></tr>
<tr><td>WDR オフ感度</td><td>WDR を ON から OFF にする感度を設定します。数値を大きくするほど WDR が OFF になるタイミングが早くなります。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

■スマート照明設定ウィンドウ

項目	内容		
画像	スマート照明	スマート照明のオン／オフを選択します。	
	イルミネーションモード	赤外線	赤外線照明を使用します。
画像	コントロールモード	グローバル	照明と露出をバランスよく調整します。 このオプションを選択すると、一部の領域が露出オーバーになることがあります。監視範囲と画像の明るさが最優先の場合は、このオプションをおすすめします。
		露出オーバー抑制	局所的な露出オーバーを避けるように、赤外線照明と露出を調整します。 このオプションを選択すると、一部の領域が暗くなることがあります。画像の中央部分の鮮明さと露出オーバーの抑制を最優先する場合におすすめします。
		カスタムレベル	赤外線照明の強度を手動で制御します。
	近距離照明レベル（CNW3CPZ1）	近距離と遠距離とで個別に設定できます。 赤外線の照明レベルを 1 ～ 1000 の範囲で設定します。 値が大きいほど、強度が高くなります。0 に設定すると消灯します。 この設定はコントロールモードが［カスタムレベル］に設定されている場合に設定できます。	
	遠距離照明レベル（CNW3CPZ1）		
	照明レベル（CNW3CBF1・CNW3CDF1）	照明の明るさレベルを設定します。 （0 ～ 1000）	

■ホワイトバランス設定ウィンドウ

カメラ映像のホワイトバランスを設定します。

項目	内容		
画像	ホワイトバランス	オート	光の状態に応じて赤と青のオフセットを自動的に調整します（色は青になる傾向があります）。 ［オート］または［自動 2］でどちらか自然に見える方を選択してください。
		屋外	屋外環境に適しています。
		微調整	赤と青のオフセットを手動で調整します。
		ナトリウムランプ	光の状態に応じて赤と青のオフセットを自動的に調整します（色は赤になる傾向があります）。
		保護	変更せずに現在の色温度を固定します。
		自動 2	上記「オート」参照
	赤オフセット	赤のオフセットを手動で調整します。 この設定は、ホワイトバランスが［微調整］に設定されている場合にのみ設定できます。	
	青オフセット	青のオフセットを手動で調整します。 この設定は、ホワイトバランスが［微調整］に設定されている場合にのみ設定できます。	

■詳細設定

カメラ映像の詳細設定をします。

項目	内容	
画像	**デフォグ**	霧補正機能を使用するときは［ON］または［自動］に設定します。 ［ON］または［自動］に設定すると、霧やもやの条件下で撮影した明瞭性を調整できます。
	デフォグ　強度	霧補正レベルを設定します。

- このパラメータを設定できるのは、WDR の設定が［OFF］になっているときだけです。
- 一部のカメラモデルのみが光学デフォグをサポートしています。デフォグが［ON］に設定されている場合、デフォグ強度レベル 6 ～ 9 はオプティカルデフォグになります。デフォグ強度がレベル 5 から 6 に設定されている場合、画像はカラーから白黒に変わります。
- 「デフォグ」を「自動」に設定し、デフォグの強度レベルが 6 ～ 9 の間にある場合、画像は明るいフォグ状態で自動的に白黒に変わりません。カメラは濃霧状態でのみ自動的に光学デフォグに切り替わります。

■画像シーンスイッチ（CNW3CPZ1）

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>画像シーンスイッチ</td><td>

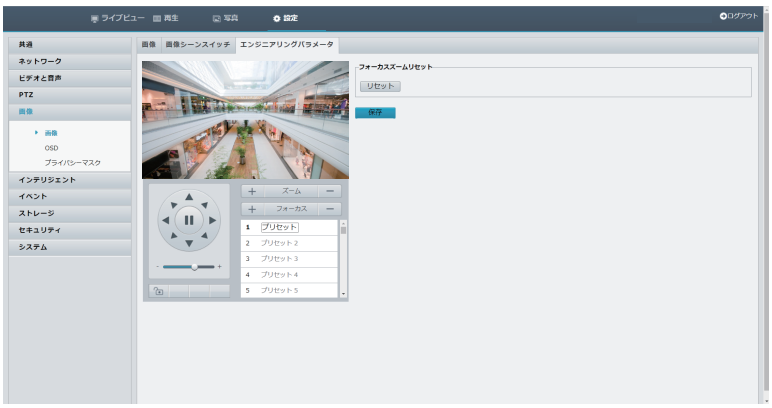
自動スイッチを有効
チェックマークを入れ、選択しているシーンの切換時間になったときに、自動的にシーンに切り換えます。

<table>
<tr><td>スイッチモード</td><td>
<table>
<tr><td>時間スイッチ</td><td>設定した時間にシーンを切り換えます。</td></tr>
<tr><td>プリセットスイッチ</td><td>設定したリングプリセットで、設定した時間にシーンを切り換えます。
リングプリセットは、指定した位置とプリセットで動作します。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>自動切替</td><td>設定した条件になったときに、自動的にシーンを切り換えます。
・指定した条件に該当しない場合は、「デフォルトシーン」が適用されます。
・複数の条件に該当する場合は、その中で番号が一番小さいシーン切り換わります。</td></tr>
<tr><td>画像シーンスイッチ</td><td>
<table>
<tr><td>スケジュール</td><td>シーンを切り換える時間帯を設定します。</td></tr>
<tr><td>画像シーン名</td><td>画像シーンの名前を設定します。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

■エンジニアリングパラメータ（CNW3CPZ1）

項目	内容
エンジニアリングパラメータ	フォーカスズームをリセットします。

●設定を工場出荷設定に戻すときは、[リセット] ボタンをクリックしてください。



●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

OSD

画面上に表示されるテキストを設定します。
設定方法は、35 ページを参照してください。

プライバシーマスク

プライバシーマスクを最大で 4 つまで作成することができます。
プライバシーマスクを設定するとその部分は黒塗りになり、映像に映らなくなります。

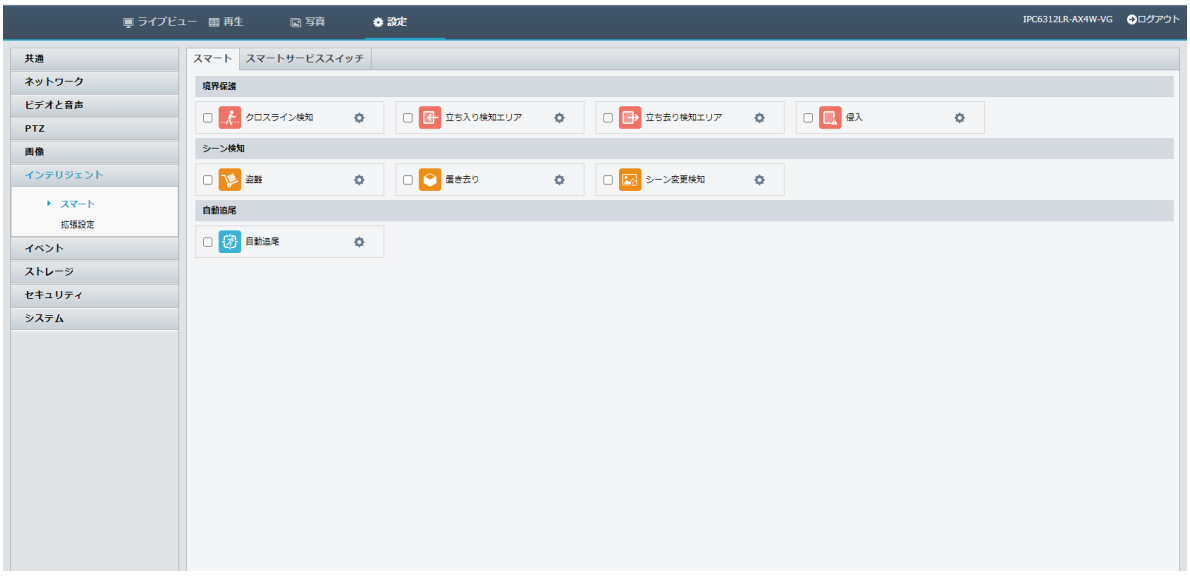
インテリジェント

映像から自動分析し、アラームなどの伝達までを行います。

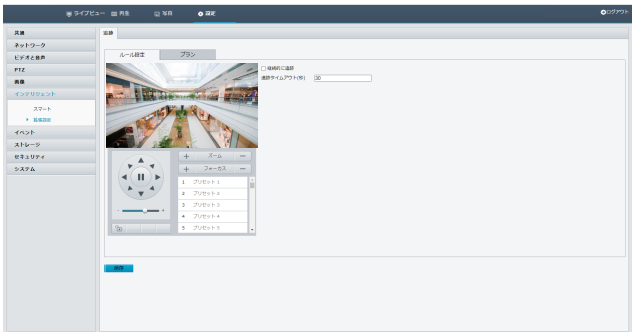
スマート

画面上の人や物の動きをパターン別に自動検知する機能の設定を行います。
チェックボックスにチェックを入れることで、設定を有効にできます。
設定（⚙）をクリックして、設定画面を開きます。
自動追尾のみ設定可能です

CNW3CPZ1



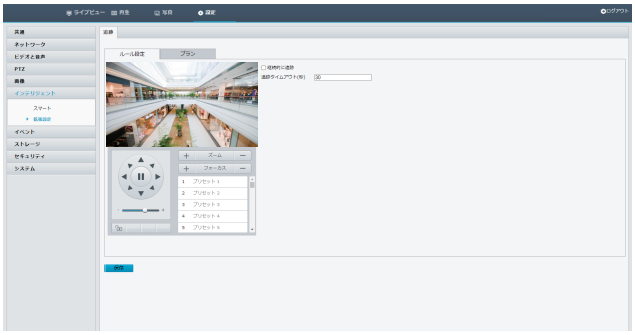
■自動追尾 (CNW3CPZ1 のみ)

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>自動追尾</td><td>検出物を一定時間追尾します。
 
<table>
<tr><td>ルール設定</td><td>
<table>
<tr><td>継続的に追跡</td><td>常時物体を追跡します。</td></tr>
<tr><td>追跡タイムアウト (秒)</td><td>物体を追跡する時間を設定します（1 ～ 300）。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>プラン</td><td>追跡する期間を設定します。
スケジュールのチェックボックスにチェックを入れると、有効になります。
(➡ 75 ページ)。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

● 設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

拡張設定

■追跡

<table>
<tr><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>追跡</td><td>検出物を一定時間追尾します。
 
<table>
<tr><td>ルール設定</td><td>
<table>
<tr><td>継続的に追跡</td><td>常時物体を追跡します。</td></tr>
<tr><td>追跡タイムアウト（秒）</td><td>物体を追跡する時間を設定します（1～300）。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>プラン</td><td>追跡する期間を設定します。
スケジュールのチェックボックスにチェックを入れると、有効になります。
（➡ 75 ページ）。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

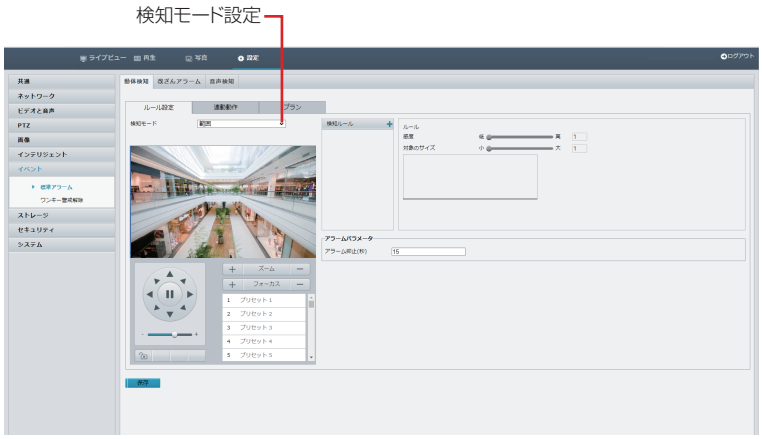
イベント

映像内に動きや妨害行為を検知したときにアラームを出力したり、連動する動作を設定することができます。

標準アラーム

■動体検知

指定された矩形領域内のオブジェクトの動きを検出します。

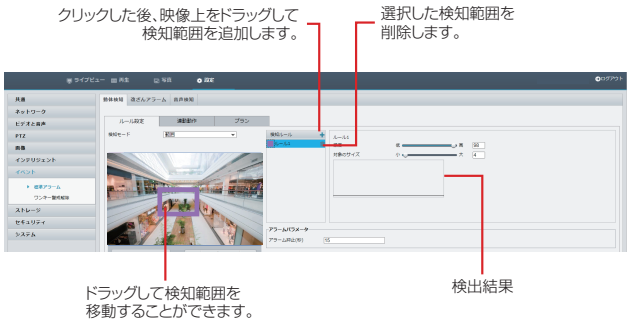


ルール設定

項目	内容
検知モード	検知モードを設定します。 「範囲」「グリッド」のいずれかを選択することで、他の項目の設定内容も変わってきます。 **範囲（初期設定）**：検知範囲をエリアで設定します。 **グリッド**：検知範囲をグリッドで設定します。
連動動作	検知した場合に動作する内容を選択できます。 チェックボックスにチェックを入れると有効になります（➡ 74 ページ）。
プラン	追跡する期間を設定します。 スケジュールのチェックボックスにチェックを入れると、有効になります。（➡ 75 ページ）。

検知範囲設定ウィンドウ

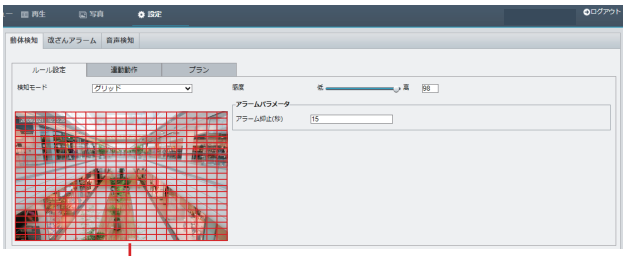
［検知モード］を［範囲］に設定すると、以下の検知範囲設定ウィンドウが表示され、検知範囲を複数設定することができます。



項目	内容
感度	感度の数値が高いほど（スライダが右にあるほど）、わずかな動きでも検知しやくなります。検知範囲全体のサイズに対する検知対象物のサイズの最小比率を指定します。
対象のサイズ	検知範囲全体のサイズに対する検知対象物の大きさの最小比率を指定します。小さな動きを検出する場合は、検知範囲を小さめにして、［対象のサイズ］をなるべく［小］に近づける必要があります。 **検出結果**：発生した動きがリアルタイムでグラフに表示されます。動体検知アラームが発生すると、赤い線で表示されます。線が長いほど動きの程度が大きいことを表します。また、線の密度が濃いほど動きの頻度が高いことを表します。 （例） 動きの程度 動きの頻度 対象のサイズ設定 この値を超えて動きを感知すると、アラームが発生します。 ※このしきい値は目安です。しきい値を超えても検知されない場合もあります。
アラームパラメータ	**アラーム抑止（秒）**：一度目のアラームが検知された後、同じアラームが検知されても無視する時間を 5 ～ 3600 秒の間で設定します（初期設定：15 秒）。

検知グリッド設定ウィンドウ

［検知モード］を［グリッド］に設定すると、以下のグリッド設定ウィンドウが表示され、検知範囲をグリッドによって設定することができます。



画像をドラッグして検出グリッドを設定します。
赤枠の範囲の中を検出します。

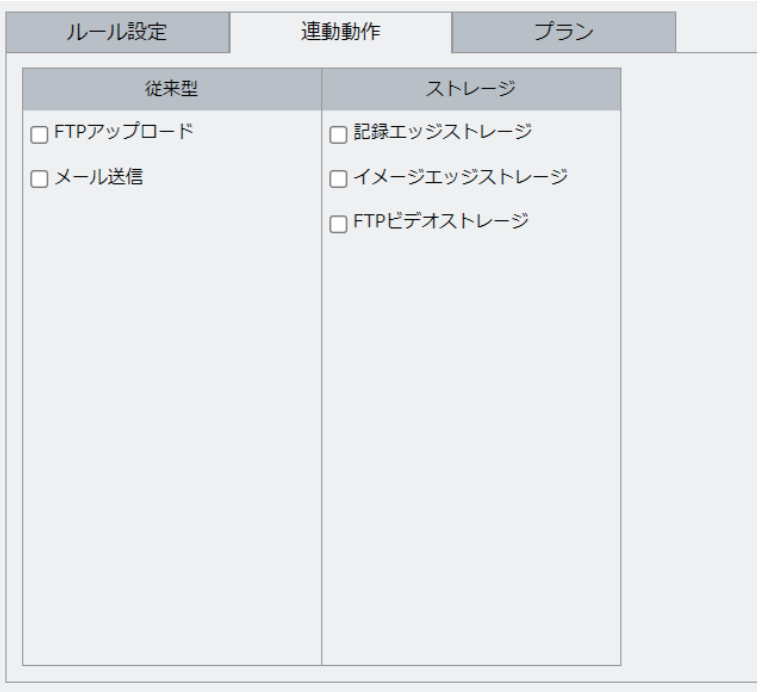
項目	内容
感度	動体検知の感度を設定します。 感度の数値が高いほど（スライダが右にあるほど）、わずかな動きでも検知しやくなります。
アラームパラメータ	**アラーム抑止（秒）**：一度目のアラームが検知された後、同じアラームが検知されても無視する時間を設定します。

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

連動動作

連動動作については、下記機能の検知を共通で記載しております。

・動体検知
・改ざんアラーム
・音声検知



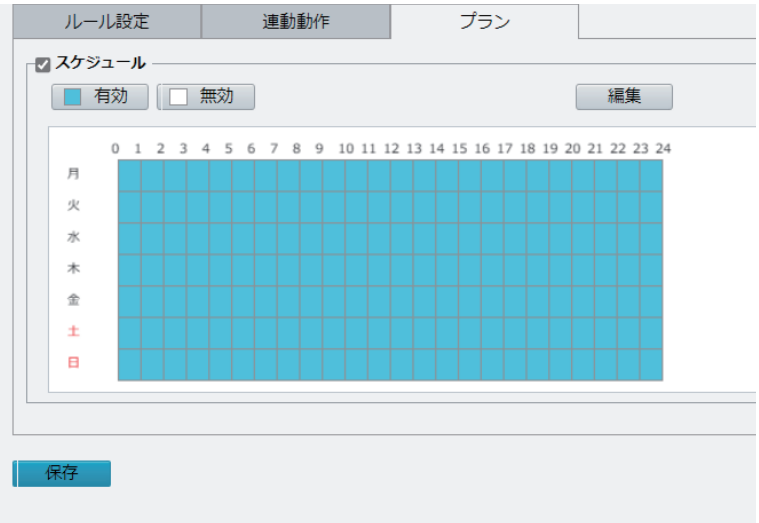
項目	内容	
従来型	FTP アップロード	チェックを入れると、検知時に自動的にスナップショットを指定の FTP サーバーにアップロードします。
	メール送信	チェックを入れると、検知時に E メールを送信します。
ストレージ	記録エッジストレージ	MicroSD カードへ録画します。
	イメージエッジストレージ	MicroSD カードへスナップショットを保存します。
	FTP ビデオストレージ（CNW3CPZ1）	FTP サーバーへ録画します。

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

プラン

プランについては、下記機能を共通で記載しております。
・動体検知　・改ざんアラーム　・音声検知

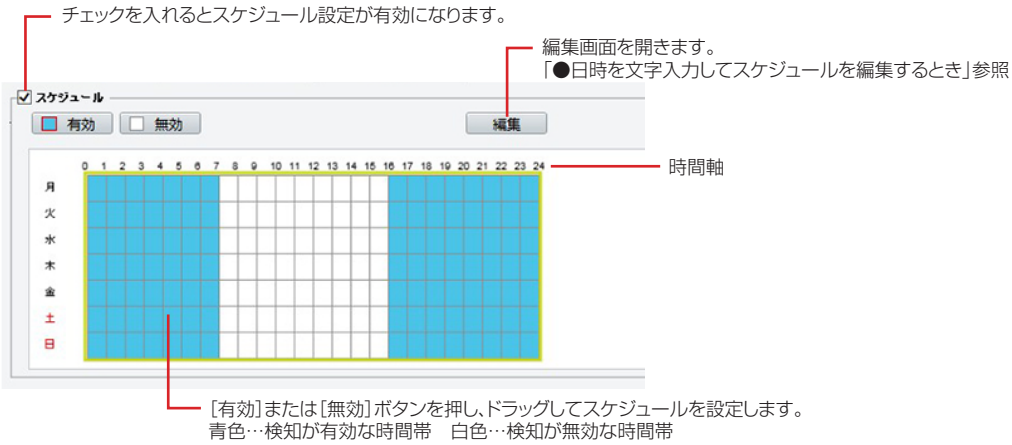
スケジュール編集ウィンドウ
検知を有効にするスケジュールを設定します。設定方法は「**時間軸でスケジュールを編集するとき**」と「**日時を文字入力してスケジュールを編集するとき**」の2種類あります。



●時間軸でスケジュールを編集するとき

①［有効］または［無効］ボタンを押してから、時間軸の枠内をドラッグしてスケジュールを設定します。
検知が有効な時間帯が青色、無効な時間帯が白色で表示されます。

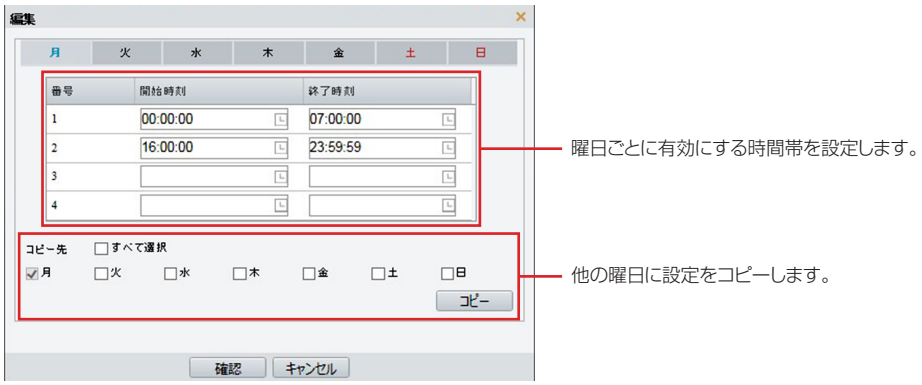
②設定が終わったら、画面左下の［保存］を押します。



●**日時を文字入力してスケジュールを編集するとき**

①［編集］を押してスケジュール編集画面を開き、曜日を選んで開始時刻、終了時刻を入力します。
同じ設定内容を他の曜日にも反映したい場合は、コピー先の曜日にチェックを入れ、［コピー］を押します。

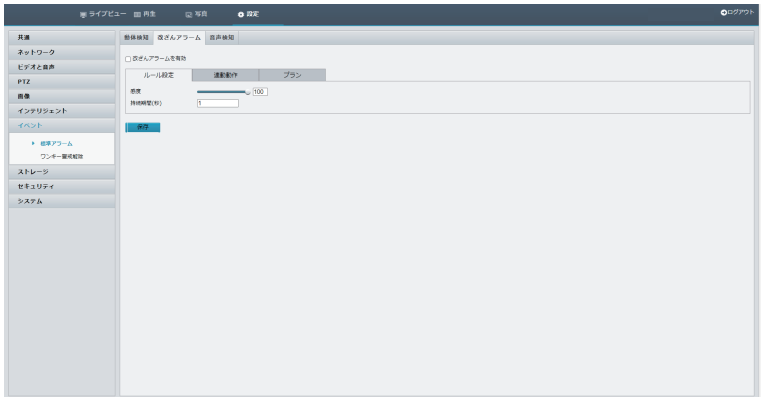
②編集が終わったら［確認］を押して前の画面に戻り、画面左下の［保存］を押します。



●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

改ざんアラーム

改ざんアラーム（タンパリング）検知機能を有効にすると、カメラが覆われたときにアラームを出力します。初期設定では無効になっています。



改ざんアラームを有効	チェックボックスにチェックを入れることで、設定を有効にできます。
ルール設定	**感度**：タンパリング検知の感度を設定します。感度の数値が高いほど（スライダが右にあるほど）、検知しやくなります。1 ～ 100（初期値：50） **持続時間**：タンパリングが何秒以上続いた場合にアラームが発生するかを設定します。1 ～ 10 秒の間で設定します（初期値：1）
連動動作	検知した場合に動作する内容を選択できます。 チェックボックスにチェックを入れると有効になります（➡ 74 ページ）。
プラン	検知が有効になる期間を設定します。 スケジュールのチェックボックスにチェックを入れると、有効になります。（➡ 75 ページ）。

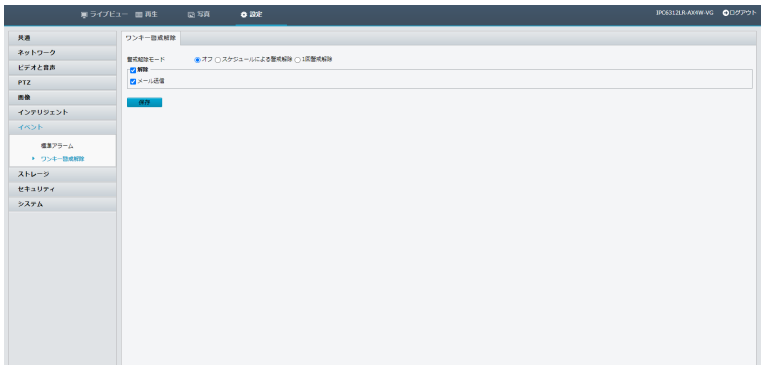
■音声検知

音量の上昇または低下が設定限度を超えるか、または入力音量がしきい値に達したときに、アラームを出力させます。設定前に、音声入力がオンになっていることを確認してください。

<table>
<tr><td>音声検知</td><td>音声検知のオン／オフを選択します。</td></tr>
<tr><td>ルール設定</td><td>
<table>
<tr><td>検知タイプ</td><td>音圧を設定することができます。
<table>
<tr><td>突然の上昇</td><td>音圧の突然の上昇を検知します。</td></tr>
<tr><td>音圧下降</td><td>音圧の下降が規定値を超えると検知します。</td></tr>
<tr><td>音圧変化</td><td>音圧の上昇または下降が規定値を超えると検知します。</td></tr>
<tr><td>しきい値</td><td>検知する音圧のしきい値を設定することができます。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>相違</td><td>音圧の変化の大きさを設定します。0 ～ 400（初期設定：100）</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>連動動作</td><td>検知した場合に動作する内容を選択できます。
チェックボックスにチェックを入れると有効になります（➡ 74 ページ）。</td></tr>
<tr><td>プラン</td><td>検知が有効になる期間を設定します。
スケジュールのチェックボックスにチェックを入れると、有効になります。（➡ 75 ページ）。</td></tr>
</table>

ワンキー警戒解除

すべてのアラーム設定をまとめて、解除することができます。



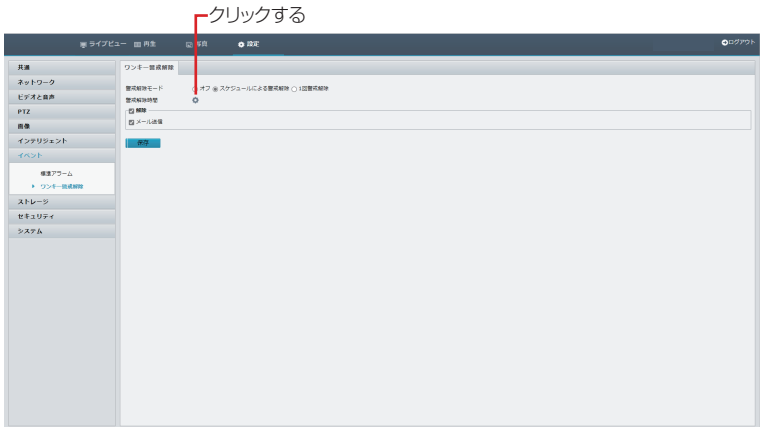
項目	内容
警戒解除モード	警戒解除モードを選択します。 [オフ][スケジュールによる警戒解除][1 回警戒解除]（初期設定：オフ）
解除	[メール送信] にチェックを入れると、警戒解除モードで選択した設定でメール送信を解除します

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

スケジュールによる警戒解除

警戒解除するスケジュールを設定します。

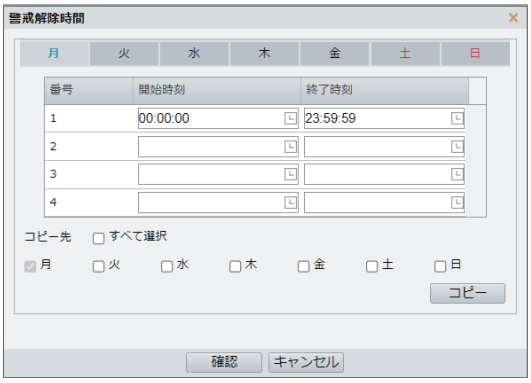
①スケジュールによる警戒解除を選択して、 をクリックします。



②時間設定する曜日を選択します。

③警戒解除する開始時間と終了時間を設定します。

④他の曜日に設定をコピーする曜日を選択して、[コピー] をクリックすると、設定をコピーできます。



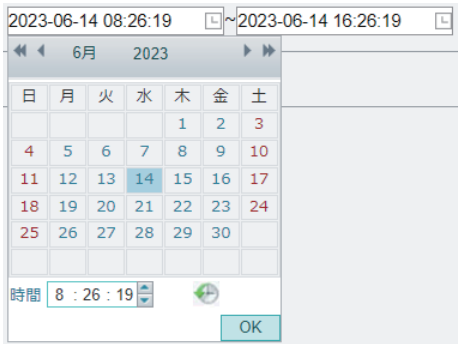
⑤ [確認] をクリックして終了します。

1 回警戒解除

警戒解除する期間を設定します。

①警戒解除時間の をクリックします。

②開始側と終了側の日付と時間を設定します。



③ [OK] をクリックして終了します。

ストレージ

ストレージ

本製品に取り付けられた microSD カードに映像を保存することができます。（microSD カードへの映像録画は、補助的な録画先としてお使いください。）

重要 **本製品の電源をオフにするときは、必ず［フォーマット］の右にある［有効］のチェックをはずして、microSD カード録画を停止してください。録画中に電源をオフにすると、microSD カードのデータが破損する可能性があります。**

「有効」のチェックをはずすと、システムが再起動します。

項目	内容
記録媒体	ストレージリソースの種類を選択します。 **フォーマット**：本製品に接続されている microSD カードがフォーマットされます。フォーマットが完了すると、システムが再起動します。 **有効**：チェックを入れると、映像を録画し、本製品に接続されている microSD カードに保存されます。
容量割り当て	**ビデオ（MB）CNW3CPZ1 は (GB)**：映像に割り当てる容量を設定します。 **スナップショット (MB) CNW3CPZ1 は (GB)**：スナップショットに割り当てられる容量が表示されます。全体の容量から設定したビデオ容量を引いた容量になります。変更はできません。 **（CNW3CPZ1）スマートスナップショット（GB）**：ビデオ、スナップショットに割り当てた残りが割り当てられます。

項目	内容	
映像ストレージ情報	ストレージポリシー	**マニュアル録画** 常時映像を録画します。 **スケジュール録画** スケジュール設定に応じて録画します。選択すると、スケジュール編集ウィンドウが表示されますので、スケジュール設定を行います。 ➡ 75 ページの「スケジュール編集ウィンドウ」ページ「スケジュール編集ウィンドウ」 **ANR 録画** カメラとネットワークレコーダー（別売品）の接続が中断したときに、microSD カードへ一時的に保存します。接続が再開されたときに、レコーダーへ不足分を保存します。
	録画容量不足の場合	**上書き** 容量が一杯になると、古い録画データを消去して新しい録画データを上書きします。 **停止** 容量が一杯になると、録画を停止します。
	事後録画時間（秒）	アラームによる録画の場合に、アラームが終了してから録画が継続する時間の長さを設定します。

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください

FTP

■ FTP

撮影した映像をネットワーク経由で FTP サーバーに保存することができます。
設定方法は、19 ページを参照してください。

セキュリティ

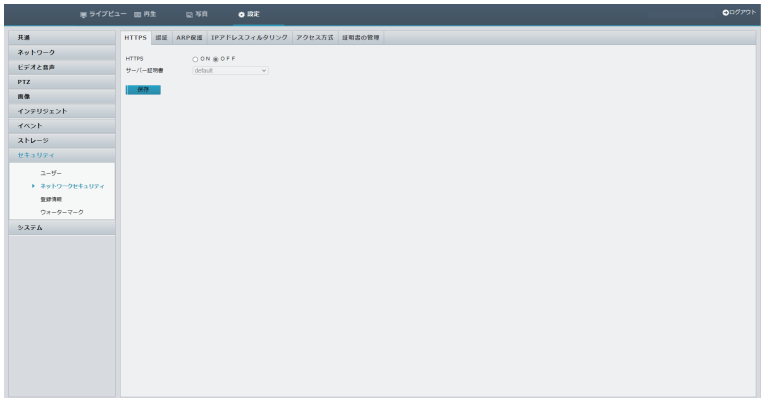
ユーザー

ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。管理者だけがこれらの操作を実行できます。
設定方法は、36 ページを参照してください。

ネットワークセキュリティ

■HTTPS

セキュリティを確保するために HTTPS を使用することができます。



項目	内容
HTTPS	HTTPS を使用する場合は ON を選択します。
サーバー証明書	必要に応じて SSL 証明書をエクスポートすることができます。

● 設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

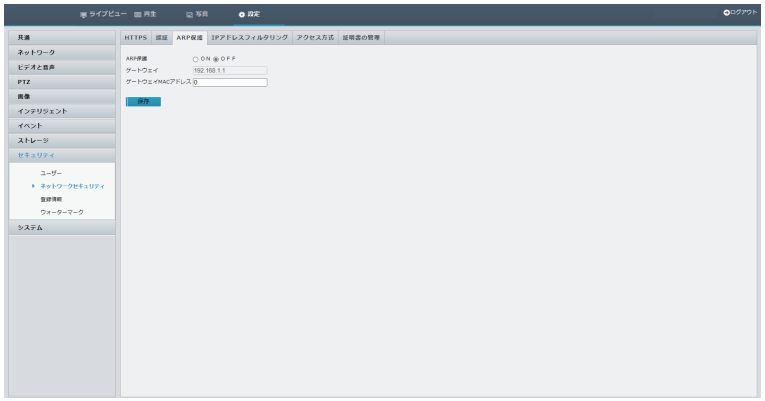
HTTPS 通信を使用する場合は、[ネットワーク] − [ポート設定] の [HTTPS ポート] も設定してください。
設定後、「https:// （IP アドレスまたはドメイン名）」にアクセスしてください。

■認証

本画面は将来の機能拡張のため設定画面を用意しています。初期設定のまま変更せずご利用ください。

■ ARP 保護

ARP 保護機能を有効にすると、すべてのアクセス要求でゲートウェイの MAC アドレスを検証し、ARP 攻撃を防ぐことができます。



項目	内容
ARP 保護	［ON］にチェックを入れると、ARP 保護機能が有効になります。
ゲートウェイ	ゲートウェイの IP アドレスが表示されます（変更不可）。
ゲートウェイ MAC アドレス	ゲートウェイの MAC アドレスを入力します。

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

■ IP アドレスフィルタリング

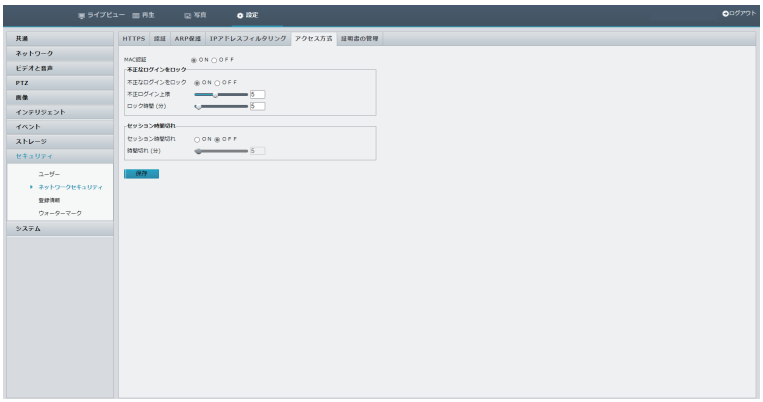
指定した IP アドレスからのみアクセスを許可したり、指定した IP アドレスのアクセスを拒否するときに設定します。

項目	内容
IP アドレスフィルタリング	［ON］を選択すると、IP アドレスフィルタリング機能が有効になります。
フィルタリングモード	［許可リスト］または［アクセス拒否］を選択します。
IP アドレスリスト	最大 32 個まで登録できます（重複不可）。 ●各 IP アドレスの最初のバイトは 1 ～ 233 のみ指定できます。 ●4 番目のバイトは 0 にはできません。

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

■アクセス方式

アクセスするときの設定を行います。

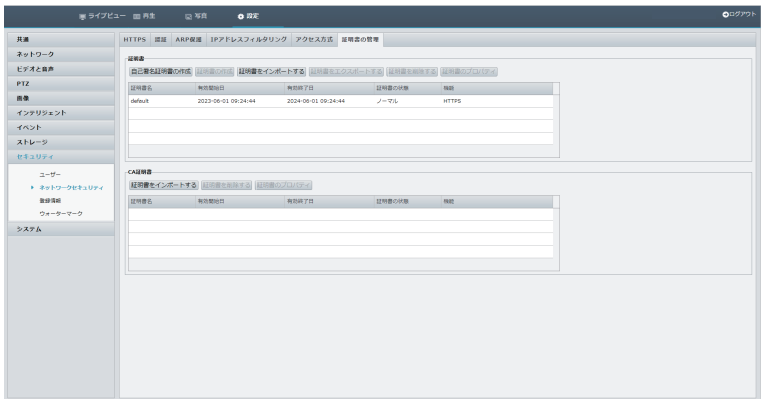


項目	内容
MAC 認証	MAC 認証を使用するときに［ON］にします。
不正なログインをロック	**不正なログインをロック**：OFF にして弱いパスワードでログインすると、パスワードの変更を促すページが表示されます。 **（CNW3CPZ1 のみ）不正ログイン上限**：不正ログイン上限回数を、2～ 10 回の間で設定ができます（初期値：5 回）。 **（CNW3CPZ1 のみ）ロック時間（分）**：ロックするまでの時間を 1 ～ 120 秒の間で設定ができます（初期値：5 秒）。
（CNW3CPZ1 のみ）セッション時間切れ	**セッション時間切れ**：ON にするとセッション時間切れを有効にすることができます。 **時間切れ（分）**：セッションが切れる時間を 1 ～ 120 秒の間で設定ができます（初期値：5 秒）。

● 設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

■証明書の管理（CNW3CPZ1）

証明書の管理を行います。



項目	内容	
証明書	自己署名証明書の作成 証明書の作成	証明書作成する情報を入力します。
	証明書をインポートする	ファイルを選択して証明書をインポートします。
	証明書をエクスポートする	ファイルを選択して証明書をエクスポートします。
	証明書を削除する	証明書を削除します。
	証明書のプロパティ	証明書のプロパティを表示します。
CA 証明書	証明書をインポートする	ファイルを選択して証明書をインポートします。
	証明書を削除する	証明書を削除します。
	証明書のプロパティ	証明書のプロパティを表示します。

登録情報

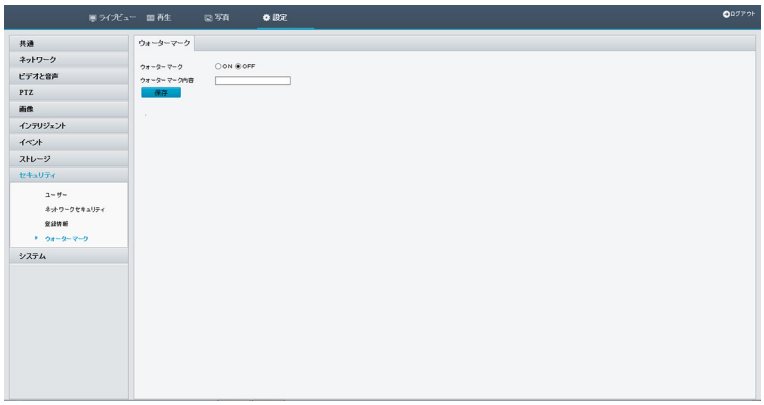
ベンダー情報を非表示にします。

項目	内容
ベンダー情報非表示	ベンダー情報表示のオン／オフを設定します。「オン」が非表示、「オフ」が表示です。

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

ウォーターマーク

不正な変更を防ぐために録画映像に電子的な「透かし」を入れることができます。



項目	内容
ウォーターマーク	ウォーターマーク機能のオン／オフを選択します。
ウォーターマーク内容	透かしの内容を設定します。

●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

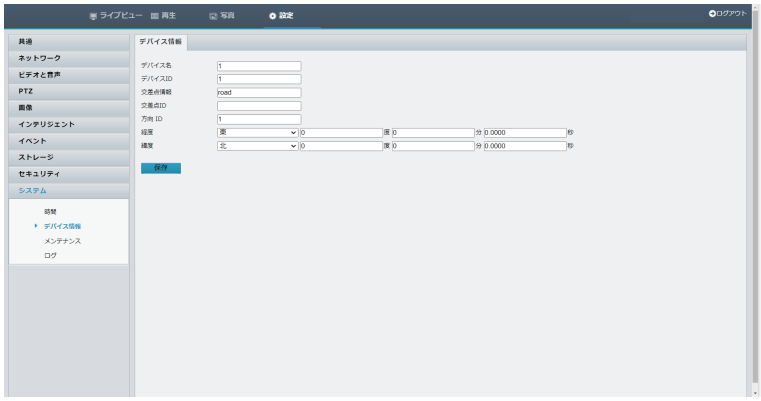
システム

時間

製品の時間設定を行います。
設定方法は、31 ページの「製品の時間設定を行います。」ページを参照してください。

デバイス情報

デバイスの登録名、ID を設定します。路上での設置場所など情報管理に使用できます。
※ 経度、緯度の表示方法は（度、分、秒）となります。
※画面：CNW3CPZ1

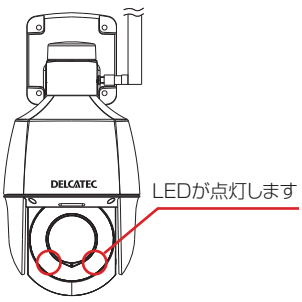


●設定を完了する際は、［保存］をクリックしてください。

メンテナンス

■メンテナンス

ファームウェアの更新やシステムを初期設定に戻すことができます。
（現在はご利用いただくことはできません）

項目	内容
ファームウェア更新	ファームウェアファイルを選択し、［アップグレード］をクリックしてファームウェアを更新します。 ブートプログラムもアップグレードしたい場合は、［ブートプログラムをアップグレード］にチェックを入れます。
設定管理	**工場出荷設定**：「ネットワーク、ユーザー情報を含めて、すべて工場出荷値に戻します」のチェックボックスにチェックを入れると、すべての設定が初期化されます。 **設定の読み出し**：書き出した設定を読み込んで復元します。 **設定の書き出し**：現在の設定を書き出します。
診断情報	［書き出し］をクリックすると、ログ情報とシステム構成をダウンロードできます。 ［画像デバッグ情報収集］にチェックを入れると、デバッグ情報も同時にダウンロードします。 診断情報のデータは、お客様にて確認することはできません。 製品不具合時に、弊社にてシステムの検証をする必要が発生したときに、診断情報データを取り出すことをお願いする場合があります。
（CNW3CPZ1 のみ）曇り止めヒーター	レンズの曇りを防止します。「曇り止めヒーター」を ON にし、加熱時間を設定します。 ON にすると LED が点灯します。 
デバイス再起動	［再開］をクリックすると、システムを再起動します。

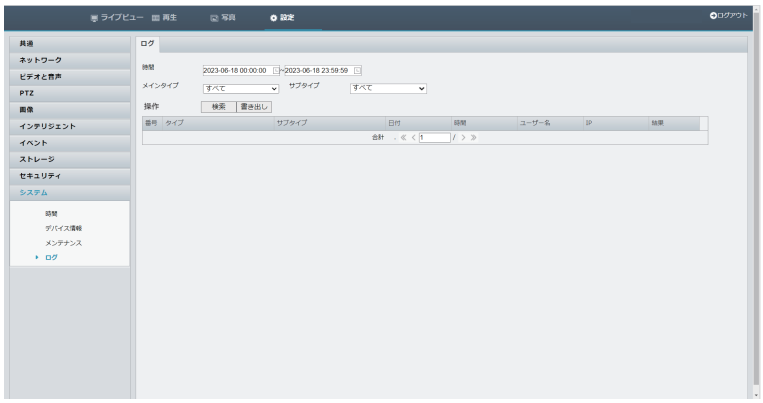
※システム設定の読み込みを行っても、タイムゾーンは引き継がれません。変更を行っていた場合は、読み込み後に再設定してください。

■ネットワーク診断

メンテナンス用のため設定は不要です。

ログ

ログを時間、タイプ毎に検索、書き出しができます。



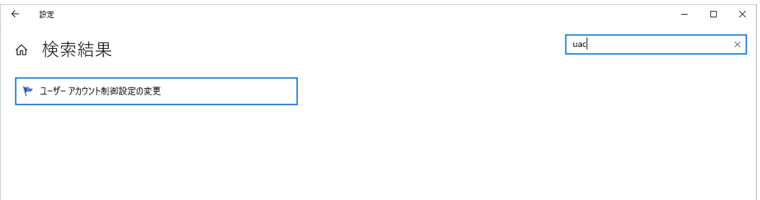
項目	内容
時間	ログを検索、書き出しする時間の範囲を指定します。
メインタイプ	ログを検索、書き出しするタイプを指定します。
サブタイプ	
操作	検索するか、パソコンに書き出しするかを、ボタンをクリックして操作します。

その他—こんなときは

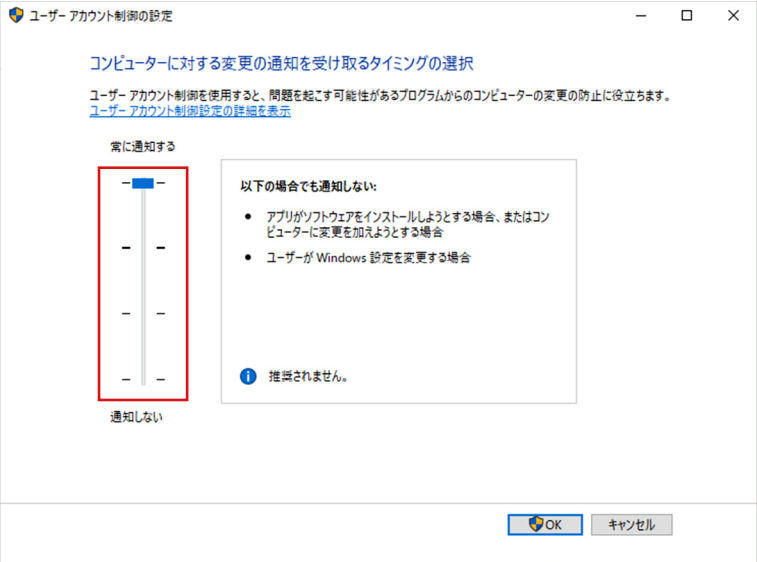
プラグインをインストールするメッセージが表示されず、かつライブビュー映像が確認できない

1 Windows のスタートメニューをクリックし、［設定］アイコンをクリックします。

2 検索欄に［uac］と入力して検索し、［ユーザーアカウント制御設定の変更］をクリックします。



3 スライダを［常に通知する］に移動し、［OK］をクリックします。



4 再度管理画面にアクセスします。

5 プラグインをインストールするメッセージが表示されたらクリックし、画面の案内に従ってインストールしてください。

管理画面にアクセスするパスワードを変更したい

1 管理画面から［設定］－［共通］－［ユーザー］をクリックします。

2 ［ユーザー］画面が表示されますので、パスワードを変更したいユーザーを選択し、［編集］をクリックします。

3 ［ユーザー追加］（［編集］）画面が表示されますので、［古いパスワード］欄に現在のパスワード、［パスワード］と［確認］欄に新しいパスワードを入力し、[メール] にメールアドレスを入力し、［確認］をクリックします。

項目	内容
古いパスワード	現在設定されているパスワードを入力します。
パスワード	9～32 文字でパスワードを設定します。 英数字（大文字、小文字）と一部の記号（_、-）のみ入力できます。 パスワードの強度が下に表示されます。 ※パスワード入力欄の下側にパスワードの強度が表示されます。「強」になるように、必ず英字と数字・記号を組み合わせたパスワードを設定してください。
確認	確認のためパスワードを再度入力します。

ネットワークカメラの映像に横縞（フリッカー）が出る

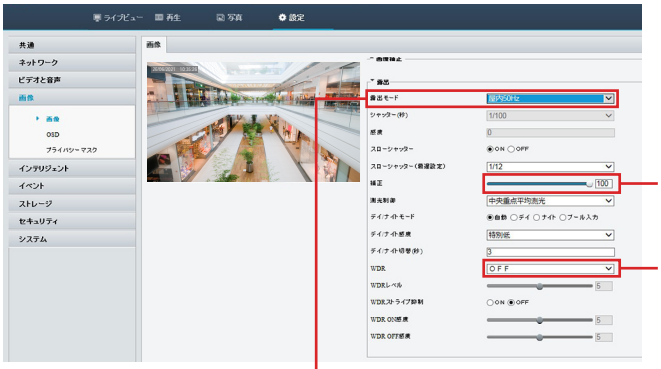
蛍光灯の光などが映像に入ると、以下のような横縞が発生する場合があります。（図はイメージです）

多くの場合、横縞が
上または、下方向に動きます。

多くの場合、横縞が上方向または下方向に動きます。
フリッカーは、蛍光灯の状態、設置環境などで発生パターンが異なります。状態によっては 100%抑制することができない場合があります。また、カメラを設置する際、まず照明の位置、種類を確認し、フリッカーの出やすい設置場所を避けることが一番の有効な回避手段となります。
設置場所や照明の種類を変えられない場合は、以下の方法をお試しください。

●［露出モード］を以下のように設定すると軽減することがあります。

管理画面：［設定］ー［画像］ー［画像］ー［露出］タブ



［露出モード］を設定しても
改善しない場合は、［補正］を
「100」にしてお試しください。

WDR（明暗補正）をON にすると
フリッカーがより目立ちます。
必須でない場合は、OFFに設定してください。

地域	使用環境	設定値
東日本（50Hz エリア）	屋外	変更なし
	屋内	屋内 50Hz
西日本（60Hz エリア）	屋外	変更なし
	屋内	屋内 60Hz

ライブ映像が表示されない

パソコンのファイアウォール機能を停止してから再度管理画面にログインしてください。

その他—付録編

使用上のご注意

〈時計機能〉

●本製品は、日付や時刻などの時計情報が保持されません。使用するときは、パソコンなどから時刻設定をする必要があります。

〈お手入れ時〉

●お手入れするときは電源をオフにしてください。

●ベンジン・シンナーなどの有機溶剤をかけたり、使用したりしないでください。変色などの原因になります。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。

〈使用・取り扱いについて〉

●長期間の使用に関して、安全にお使い頂くために専門業者による定期点検をお願いします。長期間使用すると外観上は異状がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障、事故につながることがあります。

●本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。

●本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、責任は負いかねますので、ご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。（microSD 内のデータも含む）

●本製品の取り扱いは慎重にお願いいたします。落としたり、強い衝撃または振動を与えたりしないでください。破損や故障の原因になります。

●筐体に強い衝撃や振動を与えますと、故障の原因になります。

●ご利用のネットワーク環境、PC 性能、被写体、アクセス数により、画像更新速度が遅くなることがあります。

●ネットワークカメラを小刻みに振動する場所（たとえば振動する機器の近くなど）へ設置した場合には、周期的に画面が縦方向に伸び縮みするようにゆがむ現象が発生することがございます。これは撮像素子に CMOS センサーを使用していた場合に発生する特有の現象であり、画面の周期的な動きとイメージセンサーからの画像の読み出しタイミングとの関係により発生するものですので、ネットワークカメラの異常ではありません。設置状態を再確認し、ネットワークカメラ本体を安定した場所に設置すると現象が軽減します。

●画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、CMOS センサー内部の色フィルターが劣化して、その部分が変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。

●動きの速い物体を写した場合には、画面を横切る物体が斜めに曲がって見えることがあります。

●コネクター部は自己融着テープ（別売）の上にビニルテープ（別売）で防水処理を行ってください。

●設置やお手入れの際は電源をオフにしてから行ってください。

●設置したケーブルは、日光や雨風が直接当たらないようにモールなどで覆ってください。

●カメラの解像度を 4 対 3 の比率になる設定にした場合、映像は左右方向が圧縮され縦長に表示されます。

●本製品の識別および電源、その他の表示は機器に貼り付けてあるラベルをご確認ください。

●高温・多湿の場所、直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

●本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。

●ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。

●外的要因などにより、まれに録画できない場合が発生します。随時、録画状態の確認をしてください。

〈microSD の取り扱いについて〉

●microSD カードを取り外す際は必ず電源を切ってから取り外してください。

●本製品では、microSD カードのホットスワップに対応していません。microSD カードを交換する場合には、本製品の電源を切って交換し、電源投入後に、microSD カードのフォーマットを実行してください

●microSD カードを使用する場合は、本機で microSD カードをフォーマットしてから使用してください。フォーマットすると、記録されていた内容は消去されます。未フォーマットの microSD カードや本機以外でフォーマットした microSD カードを使用すると、正常に動作しないことや、性能低下することがあります。フォーマットの仕方は、➡ 17 ページ「録画を開始する」をお読みください。

●一部の microSD カードは本製品で使用すると正常に動作しないことがあります、書き込み速度などを確認し、設置前に事前に録画ができることを確認してから設置することをお勧めします。

●本製品の電源をオフにするときは、必ず microSD カード録画を停止してください。録画中に電源をオフにすると、microSD カードのデータが破損する可能性があります。

✎ この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

設置上のご注意

●設置設定後の環境の変化などにより正常な動作が行われない場合があります。
●施工時、天井や壁などに傷や破損など起きても責任は負いません。
●高所から落下した場合、破損や故障の原因になります。

〈防水対策する場合の注意〉

防水対策をする場合は、以下の点にご注意ください。

●ケーブル先端を露出させないでください。
●水の中にケーブルコネクターを入れないでください。
●一度取り外したネジ類は確実に締めてください。

〈電源に関する注意〉

●本製品に電源スイッチはありません。設置工事の際は、AC アダプターを外してください。

〈本製品の取り付け場所に関する注意〉

●本製品は、壁、柱または天井に取り付ける際には、お買い上げの販売店とよくご相談のうえ、カメラの重量を支えるための強度が、十分にある場所に設置してください。
●市販の防犯カメラ取付金具や他の金具などを使用する際は、本製品に適した施工をしてください。
●石こうボードや木部には強度が弱いので取り付けないでください。やむを得ず取り付ける場合には、十分な補強を施してください。

〈設置場所について〉

●直射日光の当たるところや、冷房・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。
●照明、火災報知機、誘導灯などの既設設備の妨げにならないように設置してください。
●プライバシーを侵害する映像が映る場所への設置はしないでください。（トイレ、更衣室、道路など）
●以下のような場所での設置および使用はできません。直射日光が当たる場所／プールなど、薬剤を使用する場所／ちゅう房などの蒸気や油分の多い場所／溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所／放射線や X 線、および強力な電波や磁気の発生する場所／海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所／使用温度範囲を超える場所／車両、船舶や工場ライン上などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません）／ほこりの多い場所（防塵対応モデルにおいてもレンズへの粉塵付着で劣化や傷の原因となります）

〈設置作業前の注意〉

●当社のネットワークカメラおよびネットワークレコーダーを使用になるネットワーク回線を、他の目的（一般業務など）のネットワーク回線と混在してご利用いただくことは、セキュリティ上問題がありますので、情報の流出・紛失は補償致しかねます。
●設置する際は、市販のアタッチメント金具やベースカバーの使用をお勧めします。
●設置には、付属の設置用ネジセットまたは、取り付ける場所の材質に合わせたネジ等を使用してください。
●レンズまたはカバーに付いている保護ビニールは施工中に外すと傷など付く恐れがあるので設置後に外してください。

〈取り付けネジの締め付けに関する注意〉

●ネジは取り付け場所の材質や構造物に合わせて、しっかりと締め付けてください。
●インパクトドライバーは使用しないでください。ネジの破損の原因となります。
●ネジはまっすぐ締めてください。締めたあとは、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

〈雷に対する保護に関する注意〉

●LAN ケーブルを使って本機をネットワークに接続する場合は、ネットワークが雷の影響を受けないように配線設置してください。

〈電波障害に関する注意〉

●テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランス、電力線など）の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。

〈時刻設定に関する注意〉

●時刻の設定については、➡ 89 ページ「時間」をお読みください。

〈使用しなくなった際の注意〉

●本製品を使用しなくなった場合は放置せず、必ず撤去してください。

このマニュアルについて

- このマニュアルの著作権は、DX アンテナ株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。

- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名／社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における ® および TM は省略させていただきました。